

# 令和3年度 神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査 調査結果の概要2（公立学校分）

資料2

## 目次

1	暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 1
2	いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校、県・市町村教育委員会）	・・・ 7
3	長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）	・・・ 14
4	長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）	・・・ 23
5	中途退学者等の状況（公立高等学校）	・・・ 31
6	自殺の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 34
7	出席停止の状況（公立小・中学校）	・・・ 35
8	教育相談の状況（県・市町村教育委員会）	・・・ 36
*	「令和3年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査」及び文部科学省の「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」の調査結果をもとに、県内の公立学校の状況をまとめたもの	
*	小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む	

令和4年10月  
神奈川県教育委員会

# 1 暴力行為の状況【公立小・中・高等学校】

## (1-1)暴力行為の発生状況

### ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数 (校)	計			
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	854	551	64.5	6,224	4,823
中学校	412	316	76.7	1,961	1,889
高等学校	155	72	46.5	250	297
計	1,421	939	66.1	8,435	7,009

### イ 対教師暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	854	205	24.0	628	332
中学校	412	79	19.2	129	100
高等学校	155	11	7.1	14	14
計	1,421	295	20.8	771	446

### エ 対人暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	854	11	1.3	11	10
中学校	412	10	2.4	11	11
高等学校	155	6	3.9	7	7
計	1,421	27	1.9	29	28

### ウ 生徒間暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	854	514	60.2	4,902	4,150
中学校	412	295	71.6	1,481	1,460
高等学校	155	55	35.5	121	152
計	1,421	864	60.8	6,504	5,762

### オ 器物損壊

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	854	261	30.6	683	596
中学校	412	134	32.5	340	370
高等学校	155	39	25.2	108	127
計	1,421	434	30.5	1,131	1,093

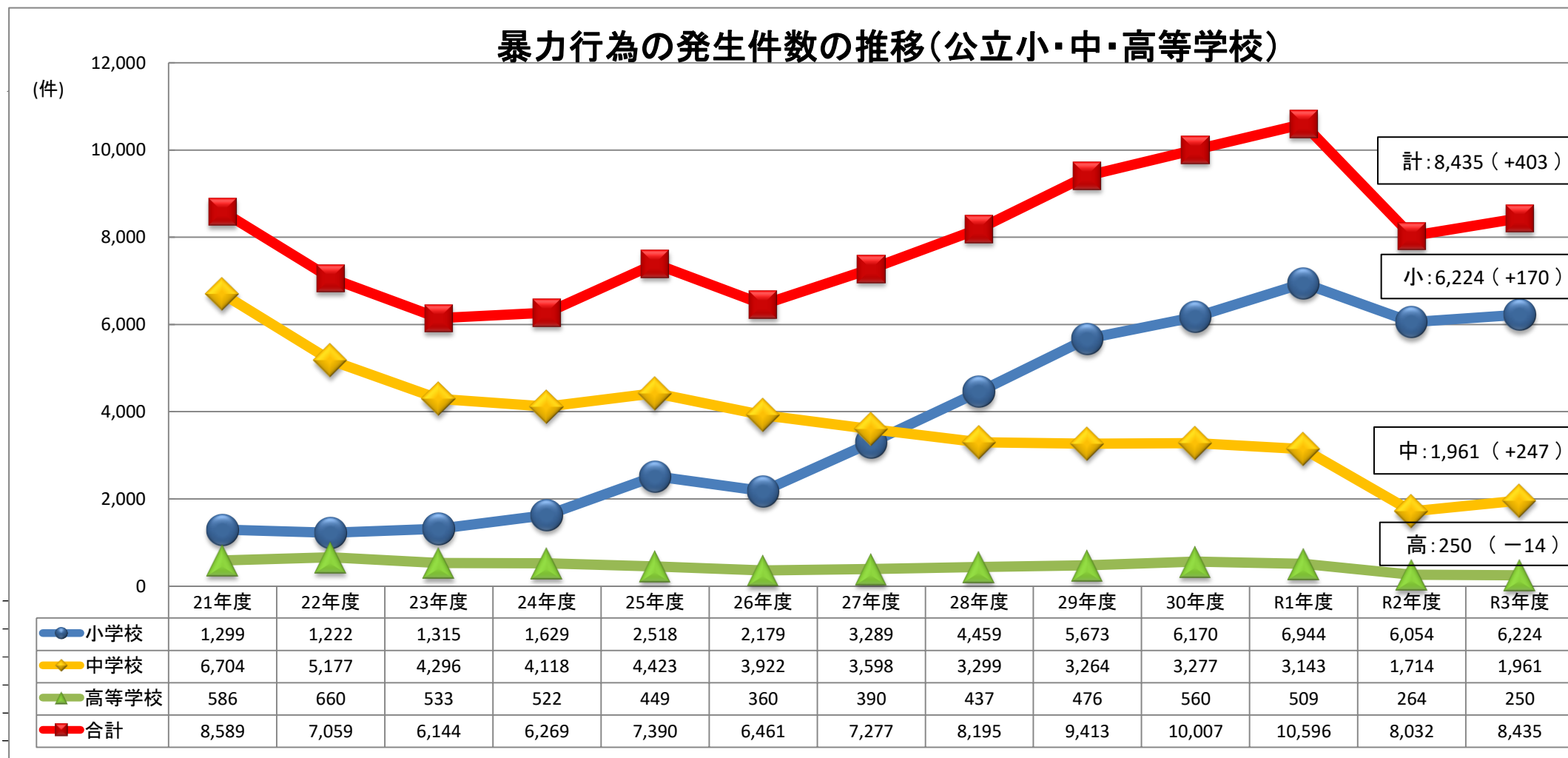
※ア～オともに

(注1)学校総数は、令和3年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。高等学校の学校数は、全日制、定時制、通信制、併置校及び中等教育学校後期課程の合計数。

(注2)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害児童・生徒数は、各区分ごとに実数。

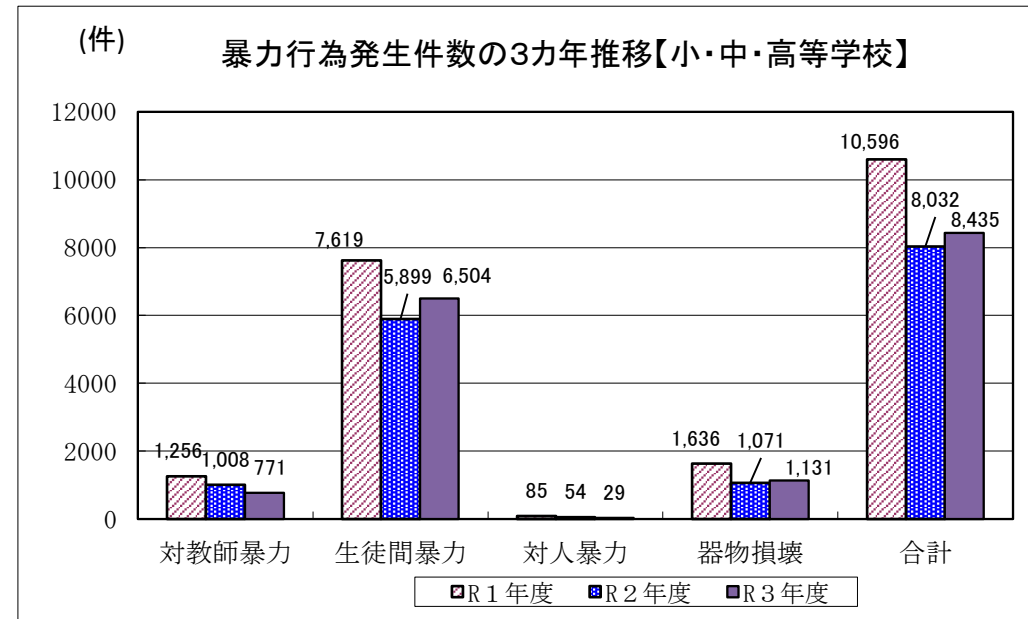
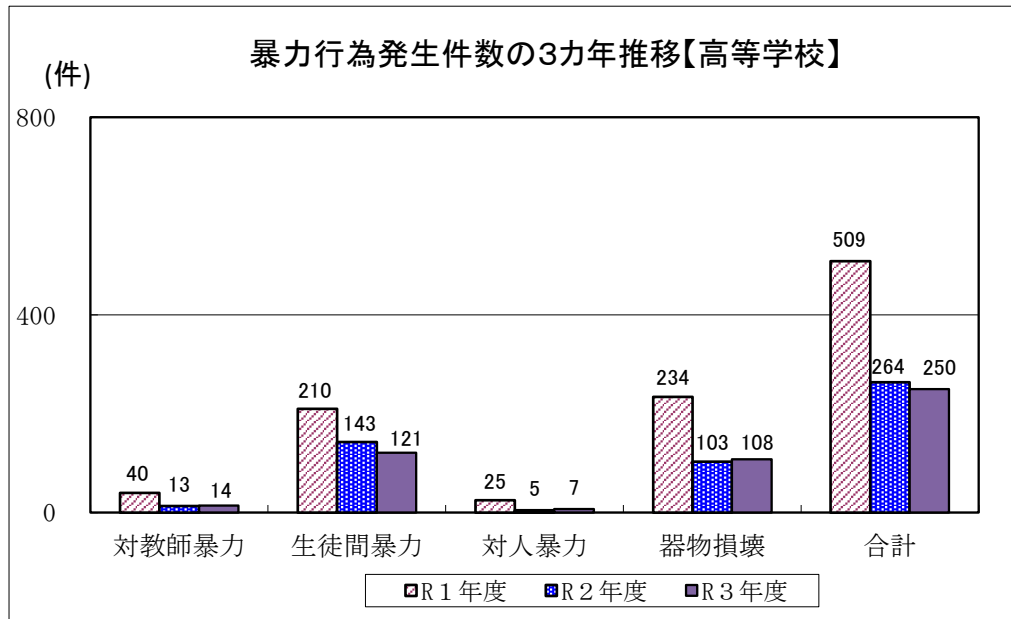
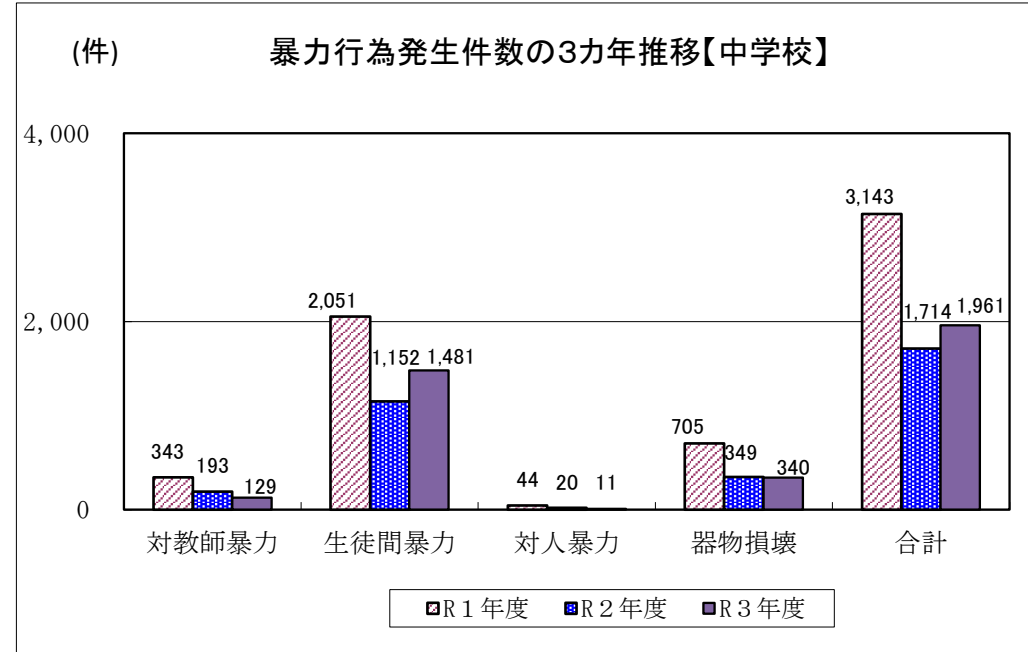
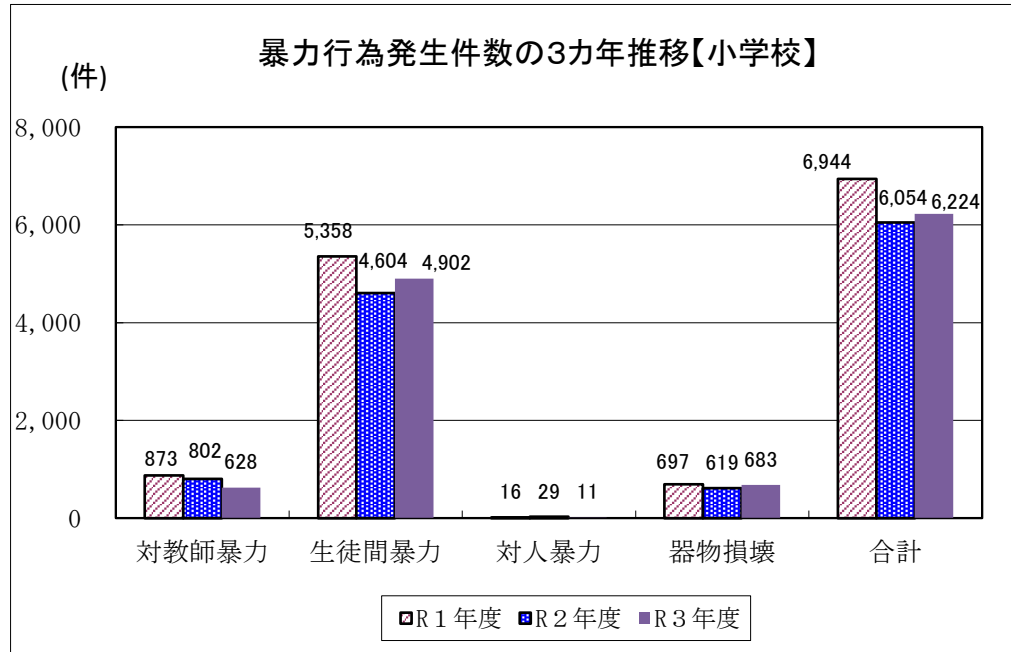
(注3)「合計」欄の発生学校数は、各区分ごとに実数。

(参考1)  
暴力行為の発生件数の推移



(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2) 学年別加害児童・生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3・4年生	計	
	774	859	879	763	797	751	4,823	853	646	390	1,889	116	101	80	297	7,009

(注)人数は、実人数で、「1 暴力行為の状況」の「(1-1)暴力行為の発生状況」の「ア 合計」の「加害児童・生徒数(人)」と各学校種の合計欄の人数と一致する。

(1-3) 加害児童・生徒に対する学校の措置別人数

区分	退学・転学		停学	出席停止	自宅学習 自宅謹慎等	訓告	計
	懲戒退学	その他					
小学校	0	1	—	0	—	0	1
中学校	0	0	—	0	—	0	0
高等学校	0	10	0	—	100	0	110

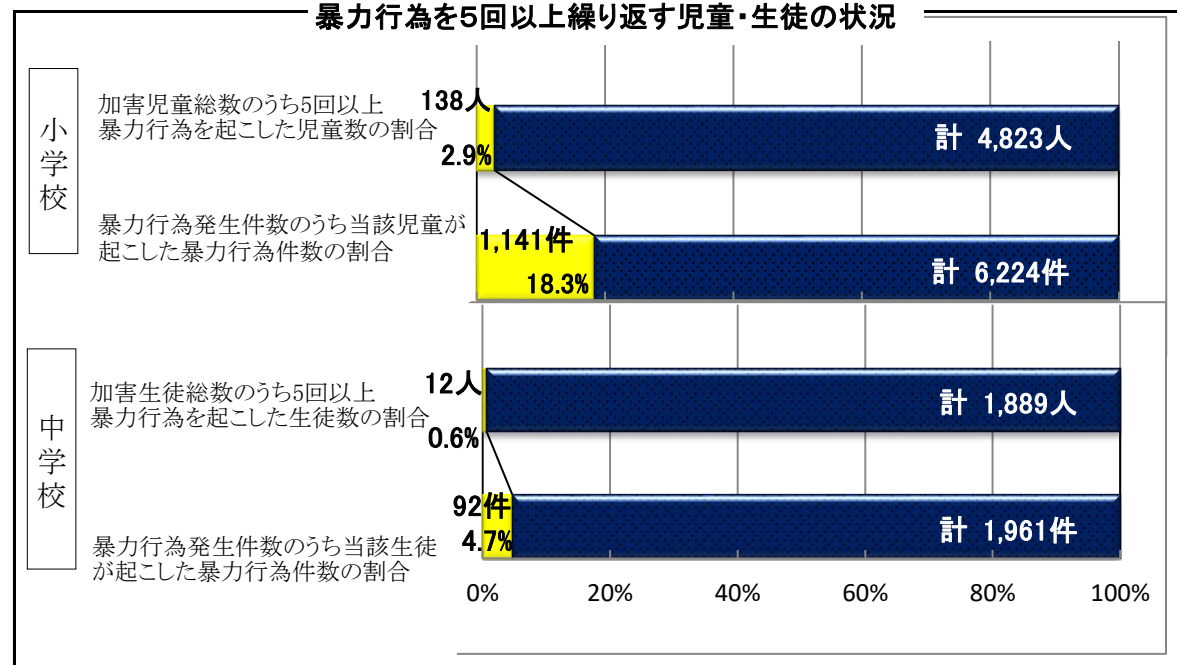
(注1)「退学・転学」中のその他とは、勸奨・申出による退学及び転学である。

(注2)「訓告」とは、校長が学校教育法施行規則第26条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったものであり、事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等は含まれない。

(1-4) 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒の状況

ア 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒数等

	小学校	中学校
該当児童・生徒数	138人	12人
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	1,141件	92件
内訳	対教師暴力	12件
	生徒間暴力	40件
	対人暴力	0件
	器物損壊	40件
加害児童・生徒数のうち該当児童・生徒の割合	2.9%	0.6%
(再掲) 各区分における加害児童・生徒数	4,823人	1,889人
暴力発生件数のうち該当児童・生徒が起こした割合	18.3%	4.7%
(再掲) 暴力行為発生件数	6,224件	1,961件



(参考)

【小学校学年別人数】

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
該当児童・生徒数	17	28	29	23	22	19	138	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	130	213	274	164	159	201	1,141	
内訳	対教師暴力	20	37	92	68	44	53	314
	生徒間暴力	105	160	160	78	87	86	676
	対人暴力	0	0	1	5	4	0	10
	器物損壊	5	16	21	13	24	62	141

【中学校学年別人数】

	1年生	2年生	3年生	計	
該当児童・生徒数	9	1	2	12	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	56	20	16	92	
内訳	対教師暴力	12	0	0	12
	生徒間暴力	37	0	3	40
	対人暴力	0	0	0	0
	器物損壊	7	20	13	40

イ 繰り返し暴力を起こす理由として考えられる要因

		小学校		中学校		計	
		回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
本人の問題	① 本人に粗暴的な性格が見受けられる	110	79.7	10	83.3	120	80.0
	② 本人の規範意識が低いと思われる	86	62.3	8	66.7	94	62.7
家庭の問題	③ 養育放棄(ネグレクト)が背景にあるように思われる	13	9.4	1	8.3	14	9.3
	④ ネグレクト以外の児童虐待が背景にあるように思われる	15	10.9	1	8.3	16	10.7
	⑤ 家族関係のなかでのストレスや葛藤がある	70	50.7	6	50.0	76	50.7
学校の問題	⑥ 友達との人間関係をうまく構築できない	89	64.5	5	41.7	94	62.7
	⑦ 教員との信頼関係が崩れたからだと思われる	30	21.7	2	16.7	32	21.3
	⑧ 校内での非行グループ化が背景にある	4	2.9	0	0.0	4	2.7
	⑨ 卒業生や校外の非行グループとの繋がりが背景にある	1	0.7	1	8.3	2	1.3
	⑩ 授業を理解できないことが原因と思われる	44	31.9	5	41.7	49	32.7
その他	⑪ その他	37	26.8	3	25.0	40	26.7

(注1)複数回答のため、回答数の合計は該当児童・生徒数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、5回以上該当者数に占める、各区分における加害児童・生徒数の割合。

5回以上該当者数	小学校	138	中学校	12	合計	150
----------	-----	-----	-----	----	----	-----

## 2 いじめの状況【公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会】

### (2-1)いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A×100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数:C/A(件)	認知していない 学校数:D(校)	比率: D/A×100(%)
小学校	854	846	99.1	25,770	30.2	8	0.9
中学校	412	410	99.5	4,822	11.7	2	0.5
高等学校	180	58	32.2	149	0.8	122	67.8
特別支援学校	49	18	36.7	94	1.9	31	63.3
計	1,495	1,332	89.1	30,835	20.6	163	10.9

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立って行うものとする。「いじめ」とは、「児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係のある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む。)であって、当該行為の対象となった児童・生徒が、心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては、教育的配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応をとることが必要である。

(注2)小・中学校の学校総数は、令和3年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。

(注3)高等学校の学校総数は、高等学校の全定併置校や通信制併設校等を全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

### (2-2)いじめの認知件数の学年別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校			
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
計	4,200	4,704	4,740	4,296	4,263	3,567	25,770	2,397	1,573	852	4,822	77	36	36	149

区分	特別支援学校																合計
	小学部							中学部				高等部				計	
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
計	1	1	3	3	0	0	8	2	2	3	7	49	12	18	79	94	30,835

### (2-3)警察に相談・通報した件数

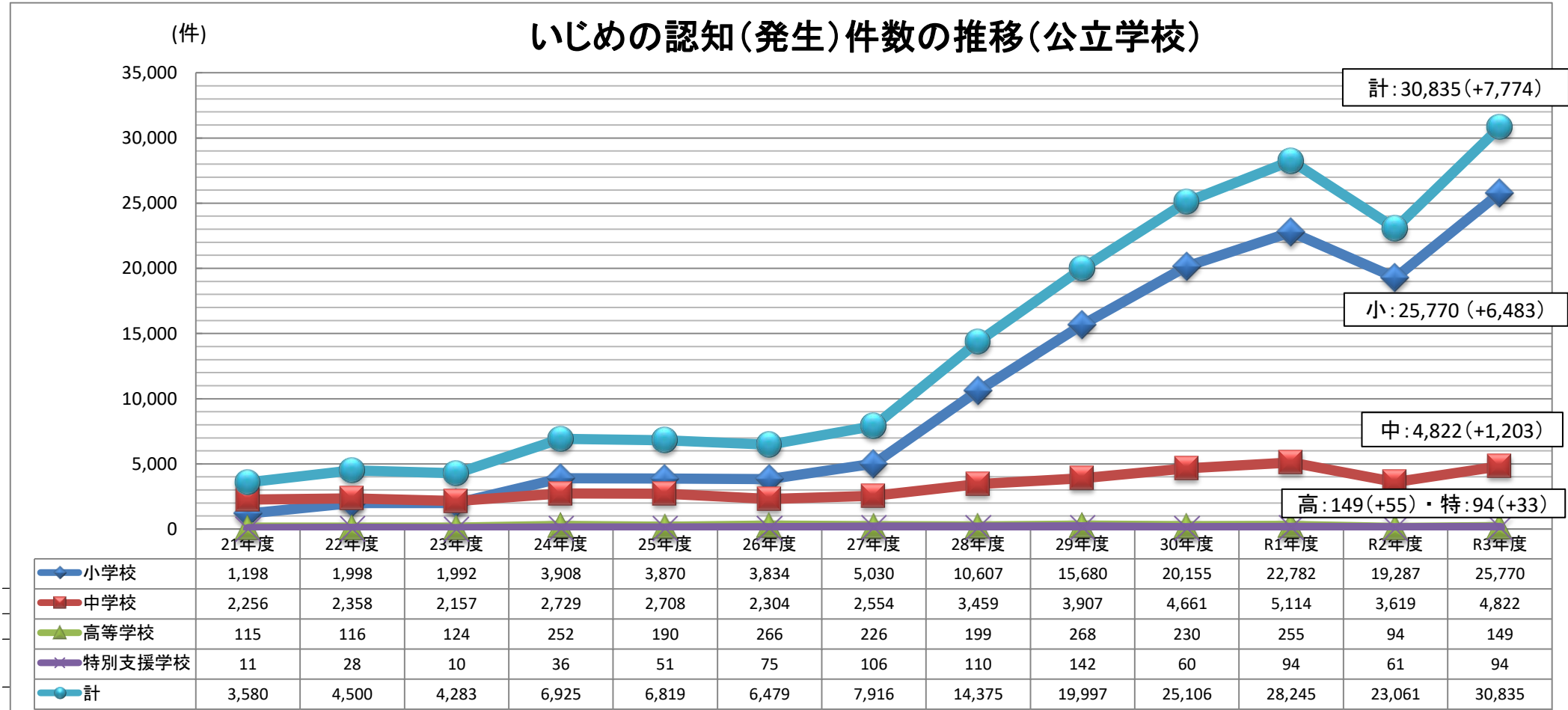
区分	いじめの認知件数		
	(単位:件)	うち、警察に相談・通報した件数 (単位:件)	警察に相談・通報した件数の割合 (単位:%)
小学校	25,770	53	0.2
中学校	4,822	49	1.0
高等学校	149	4	2.7
特別支援学校	94	2	2.1
計	30,835	108	0.4

(注1)「うち、警察に相談・通報した件数(単位:件)」は、「認知件数(単位:件)」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。



(参考)

いじめの認知(発生)件数の推移



(2-4)いじめの状況(令和4年3月31日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中(3カ月以上)		解消に向けて取組中(3カ月未満)		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	19,293	74.9	2,873	11.1	3,587	13.9	17	0.1	25,770	100.0
中学校	3,499	72.6	700	14.5	620	12.9	3	0.1	4,822	100.0
高等学校	130	87.2	7	4.7	4	2.7	8	5.4	149	100.0
特別支援学校	82	87.2	5	5.3	7	7.4	0	0.0	94	100.0
計	23,004	74.6	3,585	11.6	4,218	13.7	28	0.1	30,835	100.0

(2-5)いじめの現在の状況(令和4年7月20日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	24,416	94.7	1,331	5.2	23	0.1	25,770	100.0
中学校	4,320	89.6	498	10.3	4	0.1	4,822	100.0
高等学校	136	91.3	2	1.3	11	7.4	149	100.0
特別支援学校	92	97.9	2	2.1	0	0.0	94	100.0
計	28,964	93.9	1,833	5.9	38	0.1	30,835	100.0

(注1) 「その他」は、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から私立、私立から公立などの転学や退学等、「解消しているもの」「解消に向けて取組中」に該当しないものとする。

(2-6)いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	11,986	46.5	1,585	32.9	88	59.1	58	61.7	13,717	44.5
学級担任が発見	3,329	12.9	582	12.1	7	4.7	22	23.4	3,940	12.8
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	526	2.0	332	6.9	6	4.0	1	1.1	865	2.8
養護教諭が発見	90	0.3	25	0.5	4	2.7	0	0.0	119	0.4
スクールカウンセラー等の相談員が発見	27	0.1	4	0.1	6	4.0	0	0.0	37	0.1
アンケート調査など学校の取組により発見	8,014	31.1	642	13.3	65	43.6	35	37.2	8,756	28.4
学校の教職員等以外からの情報により発見	13,784	53.5	3,237	67.1	61	40.9	36	38.3	17,118	55.5
本人からの訴え	6,717	26.1	2,103	43.6	39	26.2	23	24.5	8,882	28.8
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	5,321	20.6	714	14.8	13	8.7	9	9.6	6,057	19.6
児童・生徒(本人を除く)からの情報	1,262	4.9	318	6.6	7	4.7	3	3.2	1,590	5.2
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	398	1.5	77	1.6	1	0.7	1	1.1	477	1.5
地域の住民からの情報	21	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	22	0.1
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	52	0.2	13	0.3	1	0.7	0	0.0	66	0.2
その他(匿名による投書など)	13	0.1	11	0.2	0	0.0	0	0.0	24	0.1
計	25,770	100	4,822	100	149	100	94	100	30,835	100

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するもの一つを選択している。

(2-7)いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	20,447	79.3	3,608	74.8	108	72.5	73	77.7	24,236	78.6
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	2,514	9.8	956	19.8	23	15.4	27	28.7	3,520	11.4
養護教諭に相談	467	1.8	168	3.5	15	10.1	1	1.1	651	2.1
スクールカウンセラー等の相談員に相談	343	1.3	101	2.1	15	10.1	4	4.3	463	1.5
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	110	0.4	41	0.9	4	2.7	1	1.1	156	0.5
保護者や家族等に相談	7,347	28.5	1,238	25.7	24	16.1	17	18.1	8,626	28.0
友人に相談	1,192	4.6	328	6.8	7	4.7	4	4.3	1,531	5.0
その他(地域の人など)	46	0.2	4	0.1	0	0.0	0	0.0	50	0.2
誰にも相談していない	1,283	5.0	265	5.5	4	2.7	0	0.0	1,552	5.0
いじめの認知件数	25,770		4,822		149		94		30,835	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-8)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	13,248	51.4	2,835	58.8	88	59.1	52	55.3	16,223	52.6
仲間はずれ、集団による無視をされる	2,684	10.4	429	8.9	35	23.5	5	5.3	3,153	10.2
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	5,841	22.7	624	12.9	16	10.7	9	9.6	6,490	21.0
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	1,694	6.6	187	3.9	6	4.0	7	7.4	1,894	6.1
金品をたかられる	242	0.9	64	1.3	3	2.0	3	3.2	312	1.0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	1,609	6.2	270	5.6	17	11.4	2	2.1	1,898	6.2
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	2,877	11.2	406	8.4	8	5.4	9	9.6	3,300	10.7
パソコンや携帯電話等で、ひぼう中傷や嫌なことをされる	620	2.4	553	11.5	25	16.8	22	23.4	1,220	4.0
その他	905	3.5	249	5.2	13	8.7	13	13.8	1,180	3.8
いじめの認知件数	25,770		4,822		149		94		30,835	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-9)いじめの児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った	323	1.3	64	1.3	20	13.4	5	5.3	412	1.3	
校長、教頭が指導した	497	1.9	10	0.2	33	22.1	1	1.1	541	1.8	
別室指導した	62	0.2	31	0.6	29	19.5	10	10.6	132	0.4	
学級替えをした	0	0.0	0	0.0	1	0.7	0	0.0	1	0.0	
退学 懲戒処分としての退学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
転学 その他	1	0.0	1	0.0	7	4.7	2	2.1	11	0.0	
停学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	0	0.0	
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	12	8.1	2	2.1	14	0.0	
訓告	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
保護者への報告	13,180	51.1	3,411	70.7	48	32.2	48	51.1	16,687	54.1	
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	14,319	55.6	2,447	50.7	35	23.5	32	34.0	16,833	54.6	
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	74	0.3	58	1.2	3	2.0	2	2.1	137	0.4
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	74	0.3	22	0.5	1	0.7	2	2.1	99	0.3
	ウ 病院等の医療機関等との連携	54	0.2	9	0.2	1	0.7	1	1.1	65	0.2
	エ その他の専門的な関係機関との連携	79	0.3	21	0.4	1	0.7	1	1.1	102	0.3
	オ 地域の人材や団体等との連携	21	0.1	3	0.1	0	0.0	0	0.0	24	0.1
いじめの認知件数	25,770		4,822		149		94		30,835		

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-10)いじめられた児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った	409	1.6	188	3.9	34	22.8	15	16.0	646	2.1
別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した	592	2.3	381	7.9	24	16.1	11	11.7	1,008	3.3
緊急避難として欠席させた	21	0.1	23	0.5	6	4.0	0	0.0	50	0.2
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	384	1.5	599	12.4	8	5.4	0	0.0	991	3.2
学級替えをした	0	0.0	0	0.0	3	2.0	0	0.0	3	0.0
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した	308	1.2	113	2.3	21	14.1	0	0.0	442	1.4
児童相談所等の関係機関と連携して対応した(サポートチームなども含む)	84	0.3	38	0.8	4	2.7	2	2.1	128	0.4
いじめの認知件数	25,770		4,822		149		94		30,835	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-11)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じて、いじめの問題に関して教職員間で共通理解を図った	854	100.0	412	100.0	143	79.4	44	89.8	1,453	97.2
いじめの問題に関する校内研修会を実施した	814	95.3	392	95.1	66	36.7	32	65.3	1,304	87.2
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	854	100.0	412	100.0	79	43.9	35	71.4	1,380	92.3
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした	768	89.9	369	89.6	60	33.3	23	46.9	1,220	81.6
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った	819	95.9	394	95.6	168	93.3	35	71.4	1,416	94.7
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	797	93.3	385	93.4	145	80.6	35	71.4	1,362	91.1
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた	839	98.2	402	97.6	115	63.9	43	87.8	1,399	93.6
P T Aなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	503	58.9	253	61.4	17	9.4	10	20.4	783	52.4
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った	527	61.7	263	63.8	27	15.0	11	22.4	828	55.4
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対応のための啓発活動を実施した	775	90.7	388	94.2	130	72.2	29	59.2	1,322	88.4
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った	837	98.0	402	97.6	115	63.9	44	89.8	1,398	93.5
いじめ防止対策推進法第22条に基づき、いじめ防止等の対策のための組織を招集した。	854	100.0	411	99.8	180	100.0	41	83.7	1,486	99.4
学校総数	854		412		180		49		1,495	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2-12)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法

【いじめを認知した学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		846	100.0	410	100.0	58	100.0	14	77.8	1,328	99.7
実施頻度	ア 年1回	49	5.8	6	1.5	8	13.8	5	27.8	68	5.1
	イ 年2～3回	670	79.2	239	58.3	50	86.2	9	50.0	968	72.7
	ウ 年4回以上	127	15.0	165	40.2	0	0.0	0	0.0	292	21.9
調査方法	ア 記名式	627	74.1	322	78.5	30	51.7	4	22.2	983	73.8
	イ 無記名式	367	43.4	177	43.2	15	25.9	8	44.4	567	42.6
	ウ 記名・無記名の選択式	60	7.1	49	12.0	15	25.9	2	11.1	126	9.5
回答方法	ア 学校で記入	846	100.0	401	97.8	49	84.5	13	72.2	1,309	98.3
	イ 持ち帰って記入	4	0.5	28	6.8	12	20.7	2	11.1	46	3.5
個別面談の実施		671	79.3	344	83.9	41	70.7	12	66.7	1,068	80.2
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		326	38.5	194	47.3	5	8.6	5	27.8	530	39.8
家庭訪問		270	31.9	199	48.5	5	8.6	0	0.0	474	35.6
その他		51	6.0	20	4.9	4	6.9	1	5.6	76	5.7
いじめを認知した学校数		846		410		58		18		1,332	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知した学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		8	100.0	2	100.0	122	100.0	26	83.9	158	96.9
実施頻度	ア 年1回	0	0.0	0	0.0	13	10.7	9	29.0	22	13.5
	イ 年2～3回	8	100.0	2	100.0	107	87.7	17	54.8	134	82.2
	ウ 年4回以上	0	0.0	0	0.0	2	1.6	0	0.0	2	1.2
調査方法	ア 記名式	7	87.5	2	100.0	72	59.0	9	29.0	90	55.2
	イ 無記名式	1	12.5	0	0.0	42	34.4	10	32.3	53	32.5
	ウ 記名・無記名の選択式	1	12.5	1	50.0	14	11.5	7	22.6	23	14.1
回答方法	ア 学校で記入	8	100.0	1	50.0	102	83.6	16	51.6	127	77.9
	イ 持ち帰って記入	0	0.0	1	50.0	28	23.0	10	32.3	39	23.9
個別面談の実施		6	75.0	2	100.0	77	63.1	17	54.8	102	62.6
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		5	62.5	2	100.0	6	4.9	3	9.7	16	9.8
家庭訪問		1	12.5	2	100.0	4	3.3	5	16.1	12	7.4
その他		2	25.0	1	50.0	4	3.3	7	22.6	14	8.6
いじめを認知していない学校数		8		2		122		31		163	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

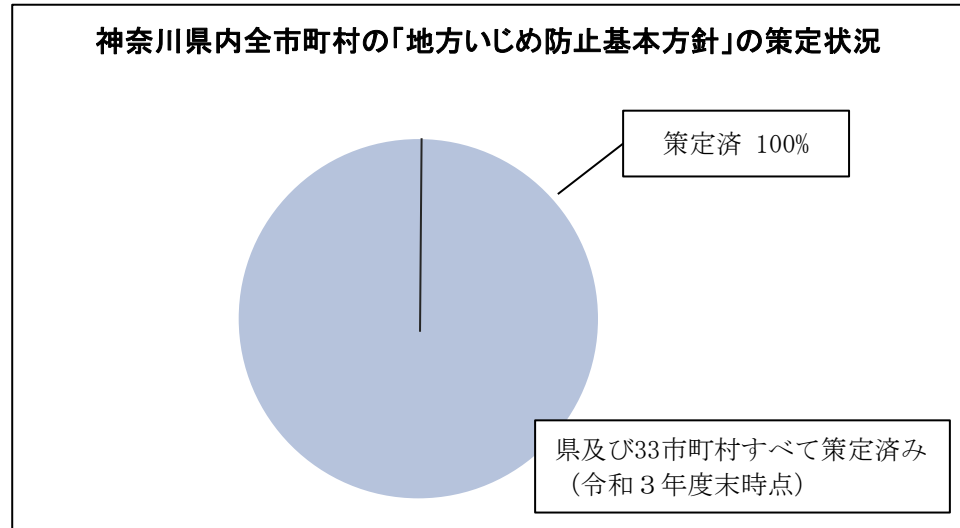
(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

【合計】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	
アンケート調査の実施	854	100.0	412	100.0	180	100.0	40	81.6	1,486	99.4	
実施頻度	ア 年1回	49	5.7	6	1.5	21	11.7	14	28.6	90	6.0
	イ 年2～3回	678	79.4	241	58.5	157	87.2	26	53.1	1,102	73.7
	ウ 年4回以上	127	14.9	165	40.0	2	1.1	0	0.0	294	19.7
調査方法	ア 記名式	634	74.2	324	78.6	102	56.7	13	26.5	1,073	71.8
	イ 無記名式	368	43.1	177	43.0	57	31.7	18	36.7	620	41.5
	ウ 記名・無記名の選択式	61	7.1	50	12.1	29	16.1	9	18.4	149	10.0
回答方法	ア 学校で記入	854	100.0	402	97.6	151	83.9	29	59.2	1,436	96.1
	イ 持ち帰って記入	4	0.5	29	7.0	40	22.2	12	24.5	85	5.7
個別面談の実施	677	79.3	346	84.0	118	65.6	29	59.2	1,170	78.3	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	331	38.8	196	47.6	11	6.1	8	16.3	546	36.5	
家庭訪問	271	31.7	201	48.8	9	5.0	5	10.2	486	32.5	
その他	53	6.2	21	5.1	8	4.4	8	16.3	90	6.0	
学校総数	854		412		180		49		1,495		

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(参考)「いじめ防止対策推進法」に関して



(2-13)いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
重大事態発生校数(校)	5	3	0	0	8
重大事態発生件数(件)	5	3	0	0	8
うち、第1号	3	1	0	0	4
うち、第2号	3	2	0	0	5

\*いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」であり、同項第2号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

いじめ防止対策推進法第30条第2項及び第31条第2項に規定する調査(再調査)について

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
再調査を行った件数(校)	0	0	0	0	0

(2-14)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校	中学校	特別支援学校	合計
児童・生徒数	14	8	0	22

就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数
6



### 3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校】

#### (3-1)理由別長期欠席者数

区分	学年	在籍者数	理由別長期欠席者数												新型コロナウイルス の感染回避		総計	
			不登校		経済的理由		病気		その他		計							
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
小学校	1年生	72,141	390	0.54	0	0.00	169	0.23	441	0.61	1,000	1.39	533	0.74	1,533	2.13		
	2年生	71,566	595	0.83	0	0.00	220	0.31	456	0.64	1,271	1.78	549	0.77	1,820	2.54		
	3年生	73,097	818	1.12	0	0.00	250	0.34	440	0.60	1,508	2.06	590	0.81	2,098	2.87		
	4年生	73,267	1,127	1.54	0	0.00	293	0.40	504	0.69	1,924	2.63	600	0.82	2,524	3.44		
	5年生	75,178	1,486	1.98	0	0.00	349	0.46	446	0.59	2,281	3.03	580	0.77	2,861	3.81		
	6年生	75,127	1,851	2.46	0	0.00	422	0.56	726	0.97	2,999	3.99	1,146	1.53	4,145	5.52		
	計	440,376	6,267	1.42	0	0.00	1,703	0.39	3,013	0.68	10,983	2.49	3,998	0.91	14,981	3.40		
中学校	1年生	66,945	2,765	4.13	0	0.00	512	0.76	283	0.42	3,560	5.32	278	0.42	3,838	5.73		
	2年生	68,100	3,623	5.32	0	0.00	602	0.88	271	0.40	4,496	6.60	324	0.48	4,820	7.08		
	3年生	67,358	4,001	5.94	0	0.00	529	0.79	311	0.46	4,841	7.19	543	0.81	5,384	7.99		
	計	202,403	10,389	5.13	0	0.00	1,643	0.81	865	0.43	12,897	6.37	1,145	0.57	14,042	6.94		
合計	642,779	16,656	2.59	0	0.00	3,346	0.52	3,878	0.60	23,880	3.72	5,143	0.80	29,023	4.52			

(注1)在籍者数には、義務教育学校及び中等教育学校在籍の児童・生徒数を含む。

(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。

「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「新型コロナウイルスの感染回避」「その他」に該当するものを計上している。

「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)。

「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せない、児童・生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席したもの。

「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため、長期欠席したもの。

「新型コロナウイルスの感染回避」：新型コロナウイルスの感染を回避するため、本人又は保護者の意思で出席しない者、及び医療的ケア児や基礎疾患児で登校すべきでない」と校長が判断したもの。

「その他」：上記「病気」、「経済的理由」、「不登校」、「新型コロナウイルスの感染回避」、のいずれにも該当しない理由により長期欠席したもの。

※令和3年度調査から新たに、「その他」の具体例として「新型コロナウイルスの感染の急拡大期に、学校又は教育委員会から推奨あるいは提示されたオンライン学習に参加したことによって、登校しなかった日数が30日以上となる場合。」が加わった。

【小学校】

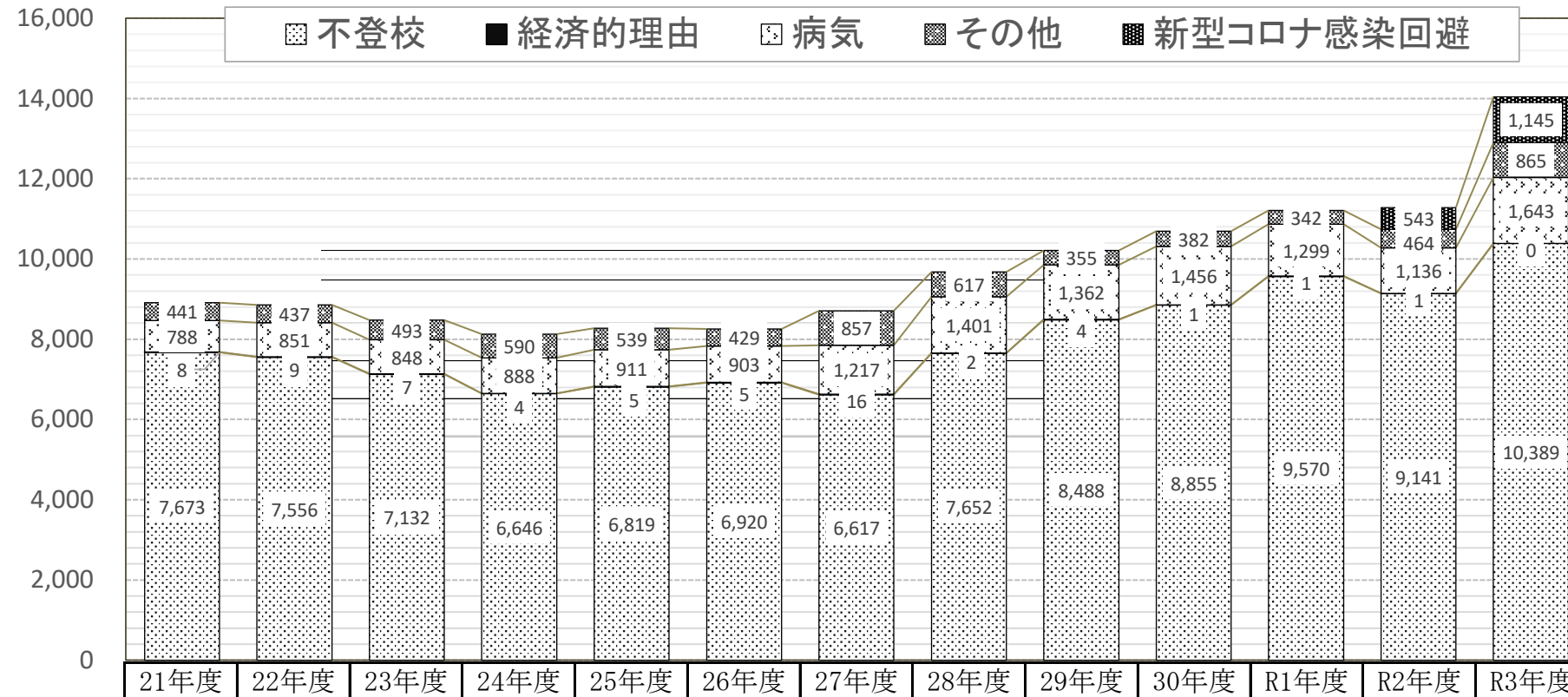
理由別長期欠席者（年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒）数の推移（人）





【中学校】

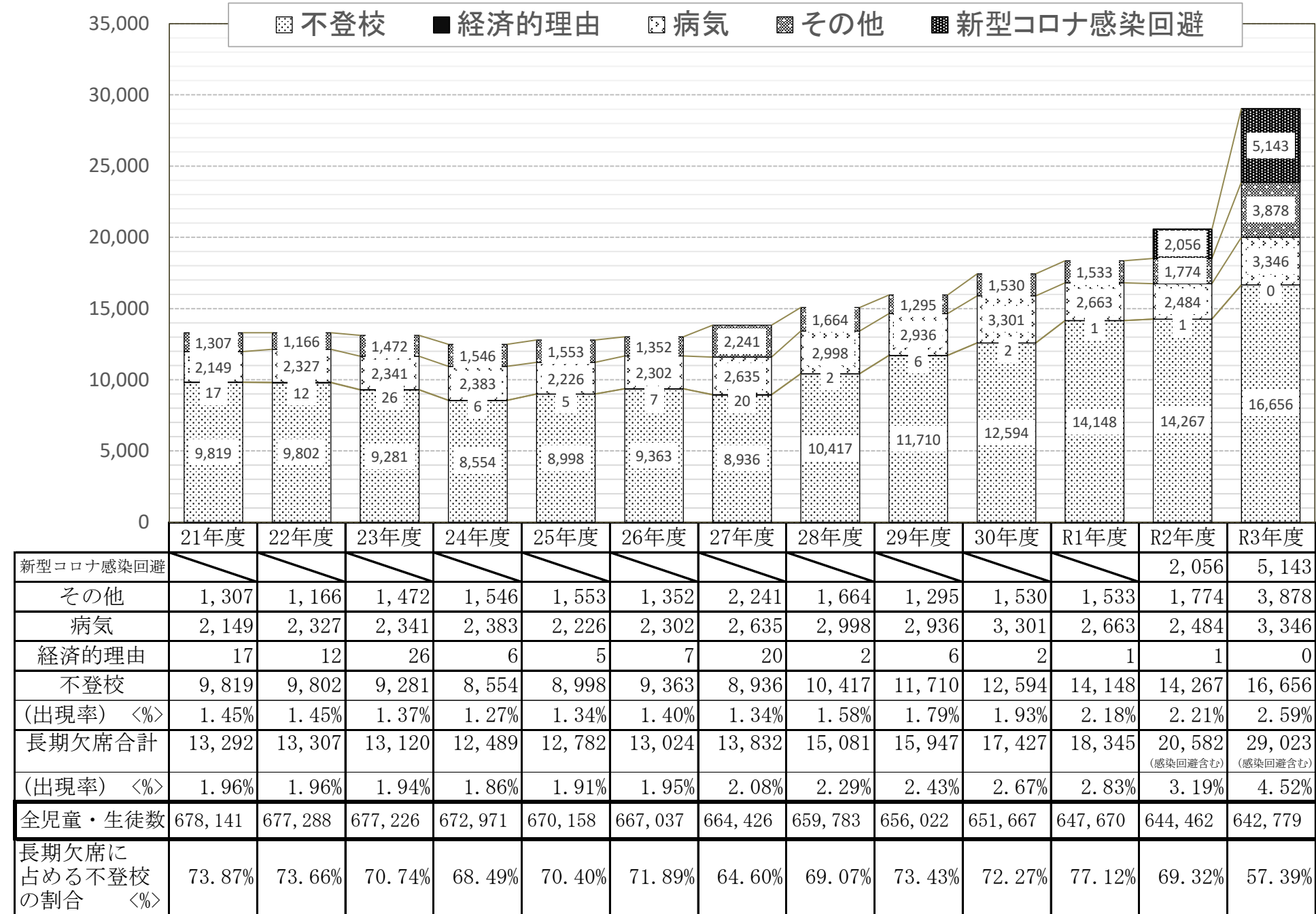
理由別長期欠席者(年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒)数の推移(人)



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
新型コロナ感染回避												543	1,145
その他	441	437	493	590	539	429	857	617	355	382	342	464	865
病気	788	851	848	888	911	903	1,217	1,401	1,362	1,456	1,299	1,136	1,643
経済的理由	8	9	7	4	5	5	16	2	4	1	1	1	0
不登校	7,673	7,556	7,132	6,646	6,819	6,920	6,617	7,652	8,488	8,855	9,570	9,141	10,389
(出現率) <%>	3.79%	3.72%	3.43%	3.17%	3.23%	3.29%	3.16%	3.68%	4.14%	4.40%	4.80%	4.56%	5.13%
長期欠席合計	8,910	8,853	8,480	8,128	8,274	8,257	8,707	9,672	10,209	10,694	11,212	11,285	14,042
(出現率) <%>	4.40%	4.36%	4.08%	3.88%	3.92%	3.93%	4.15%	4.65%	4.98%	5.32%	5.62%	5.63%	6.94%
全生徒数	202,448	203,132	207,684	209,568	210,880	210,296	209,696	208,032	205,144	201,147	199,482	200,541	202,403
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	86.12%	85.35%	84.10%	81.77%	82.41%	83.81%	76.00%	79.11%	83.14%	82.80%	85.35%	81.00%	73.99%

【小・中学校合計】

理由別長期欠席者（年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒）数の推移（人）



(3-2) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	390	595	818	1,127	1,486	1,851	6,267	2,765	3,623	4,001	10,389	16,656

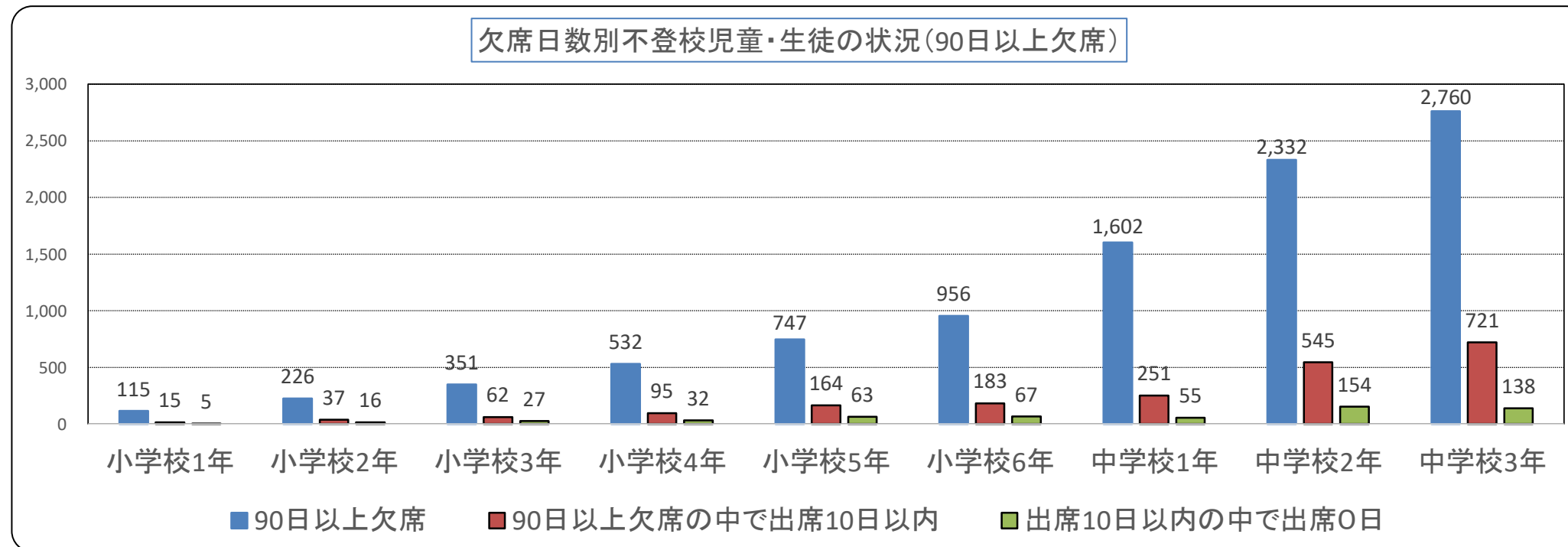
(参考2)  
不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校生徒 数の増減率 (%)	(A) 全児童・ 生徒数(人)	(B) 不登校児童・ 生徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童・ 生徒数の増 減率(%)
7年度	487,323	1,026	0.21	—	237,307	3,905	1.65	—	724,630	4,931	0.68	—
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	▲ 13.5	215,077	6,599	3.07	▲ 0.4	664,032	8,243	1.24	▲ 3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	▲ 2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	▲ 9.6	194,953	7,007	3.59	▲ 1.6	652,354	8,976	1.38	▲ 3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	▲ 3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	▲ 0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	▲ 2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	▲ 4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	▲ 0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	▲ 4.0	678,141	9,819	1.45	▲ 2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	▲ 1.5	677,288	9,802	1.45	▲ 0.2
23年度	469,542	2,149	0.46	▲ 4.3	207,684	7,132	3.43	▲ 5.6	677,226	9,281	1.37	▲ 5.3
24年度	463,403	1,908	0.41	▲ 11.2	209,568	6,646	3.17	▲ 6.8	672,971	8,554	1.27	▲ 7.8
25年度	459,278	2,179	0.47	14.2	210,880	6,819	3.23	2.6	670,158	8,998	1.34	5.2
26年度	456,741	2,443	0.53	12.1	210,296	6,920	3.29	1.5	667,037	9,363	1.40	4.1
27年度	454,730	2,319	0.51	▲ 5.1	209,696	6,617	3.16	▲ 4.4	664,426	8,936	1.34	▲ 4.6
28年度	451,751	2,765	0.61	19.2	208,032	7,652	3.68	15.6	659,783	10,417	1.58	16.6
29年度	450,878	3,222	0.71	16.5	205,144	8,488	4.14	10.9	656,022	11,710	1.79	12.4
30年度	450,520	3,739	0.83	16.0	201,147	8,855	4.40	4.3	651,667	12,594	1.93	7.5
R1年度	448,188	4,578	1.02	22.4	199,482	9,570	4.80	8.1	647,670	14,148	2.18	12.3
R2年度	443,921	5,126	1.15	12.0	200,541	9,141	4.56	▲ 4.5	644,462	14,267	2.21	0.8
R3年度	440,376	6,267	1.42	22.3	202,403	10,389	5.13	13.7	642,779	16,656	2.59	16.7

(3-3)欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	在籍児童・生徒数	不登校児童・生徒数	90日以上欠席した者のうち					
						出席日数10日以下		出席日数が0日	
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	1年生	72,141	390	115	29.5	15	3.8	5	1.3
	2年生	71,566	595	226	38.0	37	6.2	16	2.7
	3年生	73,097	818	351	42.9	62	7.6	27	3.3
	4年生	73,267	1,127	532	47.2	95	8.4	32	2.8
	5年生	75,178	1,486	747	50.3	164	11.0	63	4.2
	6年生	75,127	1,851	956	51.6	183	9.9	67	3.6
	計	440,376	6,267	2,927	46.7	556	8.9	210	3.4
中学校	1年生	66,945	2,765	1,602	57.9	251	9.1	55	2.0
	2年生	68,100	3,623	2,332	64.4	545	15.0	154	4.3
	3年生	67,358	4,001	2,760	69.0	721	18.0	138	3.4
	計	202,403	10,389	6,694	64.4	1,517	14.6	347	3.3
合計	642,779	16,656	9,621	57.8	2,073	12.4	557	3.3	

(注)パーセンテージは、各区分における不登校生徒数に対する割合



(3-4)不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(% (B/A×100)
小学校	854	823	96.4
中学校	412	409	99.3
計	1,266	1,232	97.3

(3-5)不登校の要因

分類	区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に関わる状況		左記に該当なし
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安	
小学校	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	5	354	132	201	11	0	26	106	147	693	86	719	3,491	296
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	5	237	104	443	29	1	40	61	79	738	119	534	522	
中学校	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	2	1,143	94	553	81	37	50	361	183	466	212	1,011	5,670	526
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	14	392	70	611	124	44	59	95	96	460	230	529	769	

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

不登校児童・生徒数	小学校	6,267	中学校	10,389	合計	16,656
-----------	-----	-------	-----	--------	----	--------

(3-6)不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	1,939	30.9	2,774	26.7	4,713	28.3
指導中の児童・生徒	4,328	69.1	7,615	73.3	11,943	71.7

(3-7)相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

区分	小学校				中学校				計				B/A (%)	うち90日以上		
	相談・指導等を受けた人数	うち90日以上	指導要録上出席扱いした人数	うち90日以上	相談・指導等を受けた人数	うち90日以上	指導要録上出席扱いした人数	うち90日以上	相談・指導等を受けた人数(A)	うち90日以上	不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)	うち90日以上			指導要録上出席扱いした人数(B)	うち90日以上
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	2,719	1,534	522	335	3,815	2,667	1,107	843	6,534	4,201	39.23	25.22	1,629	1,178	24.93	28.04
①教育支援センター(適応指導教室)	356	248	189	133	768	563	523	398	1,124	811	6.75	4.87	712	531	63.35	65.47
②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	892	510	187	115	755	584	319	242	1,647	1,094	9.89	6.57	506	357	30.72	32.63
③児童相談所、福祉事務所	488	252	38	14	673	444	96	64	1,161	696	6.97	4.18	134	78	11.54	11.21
④保健所、精神保健福祉センター	30	17	0	0	38	23	5	4	68	40	0.41	0.24	5	4	7.35	10.00
⑤病院、診療所	958	480	13	4	1,408	936	30	17	2,366	1,416	14.21	8.50	43	21	1.82	1.48
⑥民間団体、民間施設	328	220	109	74	447	348	222	182	775	568	4.65	3.41	331	256	42.71	45.07
⑦上記以外の機関等	154	82	28	17	279	217	21	16	433	299	2.60	1.80	49	33	11.32	11.04
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	3,548	1,393	—	—	6,574	4,027	—	—	10,122	5,420	60.77	32.54	—	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)	2,863	1,418	—	—	3,891	2,531	—	—	6,754	3,949	40.55	23.71	—	—	—	—
⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	725	294	—	—	1,081	619	—	—	1,806	913	10.84	5.48	—	—	—	—
⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	2,439	1,256	—	—	3,164	2,113	—	—	5,603	3,369	33.64	20.23	—	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	3,404	1,509	—	—	6,498	4,163	—	—	9,902	5,672	59.45	34.05	—	—	—	—
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,983	711	—	—	4,070	2,461	—	—	6,053	3,172	36.34	19.04	—	—	—	—

(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答を可とする。

(3-8) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

小学校	中学校	計
522	1,107	1,629

(3-9) 自宅におけるICT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	296	190
うち(3-8)の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	44	48

(3-10) 不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
令和3年度不登校児童・生徒数	595	818	1,127	1,486	1,851	5,877	2,765	3,623	4,001	10,389
うち令和2年度から継続	194	327	475	681	921	2,598	711	1,941	2,771	5,423
比率(%)	32.6	40.0	42.1	45.8	49.8	44.2	25.7	53.6	69.3	52.2

(3-11) 教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市町村 設置	63	38	17.4	180	82.6	218	100
計	63	38	17.4	180	82.6	218	100

#### 4 長期欠席・不登校生徒の状況【公立高等学校】

##### (4-1) 高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数										計		
		不登校		経済的理由		病気		その他		新型コロナウイルスの感染回避				
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全 日 制	122,244	2,064	1.69	14	0.01	1,403	1.15	1,672	1.37	639	0.52	5,792	4.74	
内 訳	1 年 生	32,741	451	1.38	2	0.01	253	0.77	204	0.62	85	0.26	995	3.04
	2 年 生	33,223	567	1.71	7	0.02	413	1.24	354	1.07	147	0.44	1,488	4.48
	3 年 生	33,706	479	1.42	3	0.01	529	1.57	502	1.49	325	0.96	1,838	5.45
	単 位 制	22,574	567	2.51	2	0.01	208	0.92	612	2.71	82	0.36	1,471	6.52
定 時 制	5,162	839	16.25	57	1.10	330	6.39	681	13.19	89	1.72	1,996	38.67	
内 訳	1 年 生	305	33	10.82	1	0.33	8	2.62	21	6.89	6	1.97	69	22.62
	2 年 生	321	40	12.46	0	0.00	26	8.10	22	6.85	7	2.18	95	29.60
	3 年 生	364	36	9.89	5	1.37	27	7.42	38	10.44	21	5.77	127	34.89
	4 年 生	308	24	7.79	2	0.65	17	5.52	37	12.01	7	2.27	87	28.25
	単 位 制	3,864	706	18.27	49	1.27	252	6.52	563	14.57	48	1.24	1,618	41.87
計	127,406	2,903	2.28	71	0.06	1,733	1.36	2,353	1.85	728	0.57	7,788	6.11	
内 訳	1 年 生	33,046	484	1.46	3	0.01	261	0.79	225	0.68	91	0.28	1,064	3.22
	2 年 生	33,544	607	1.81	7	0.02	439	1.31	376	1.12	154	0.46	1,583	4.72
	3 年 生	34,070	515	1.51	8	0.02	556	1.63	540	1.58	346	1.02	1,965	5.77
	4 年 生	308	24	7.79	2	0.65	17	5.52	37	12.01	7	2.27	87	28.25
	単 位 制	26,438	1,273	4.82	51	0.19	460	1.74	1,175	4.44	130	0.49	3,089	11.68

(注1)在籍者数は、令和3年4月1日現在

(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。

「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「その他」に該当するものを計上している。

「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。)

「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せないとか、生徒が働いて家計を助けなければならない等のため

「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため

「新型コロナウイルスの感染回避」：新型コロナウイルスの感染を回避するため、本人又は保護者の意思で出席しない者、及び医療的ケア児や基礎疾患児で登校すべきでない」と校長が判断した者の数。

「その他」：上記のいずれにも該当しない理由のため

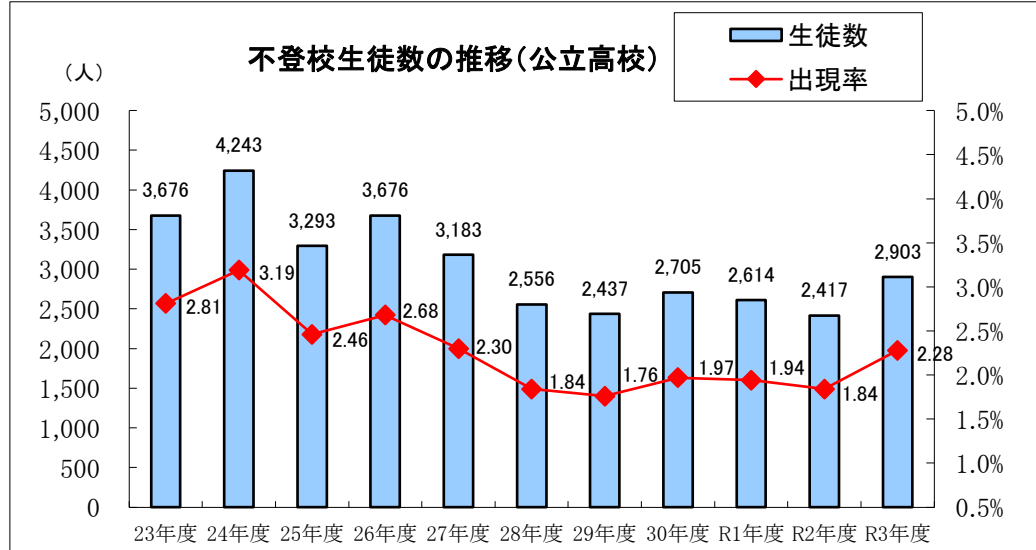
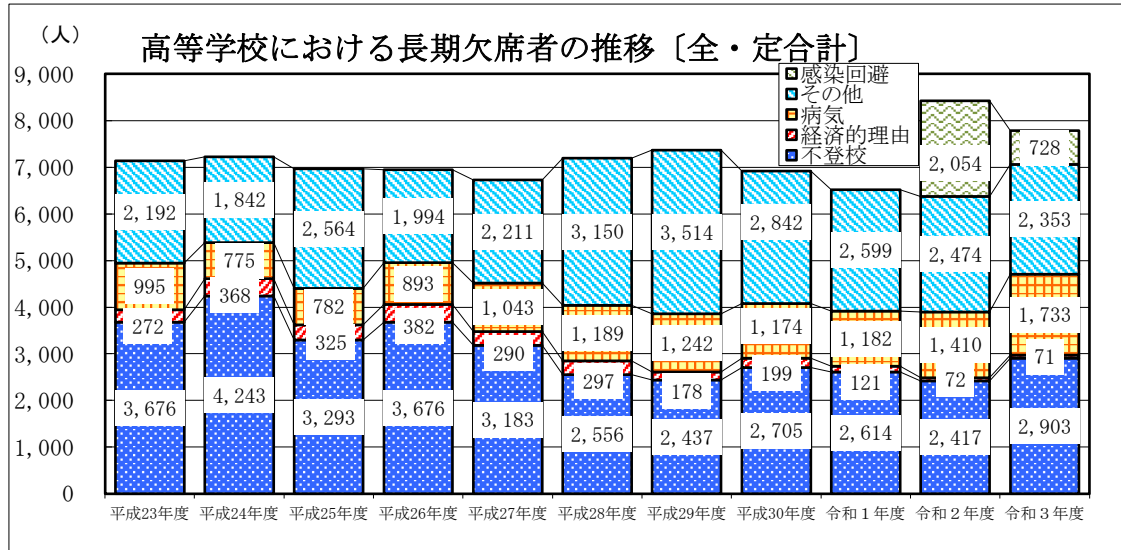
(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合



(参考)  
高等学校における理由別長期欠席者数の推移

ア 公立高等学校合計

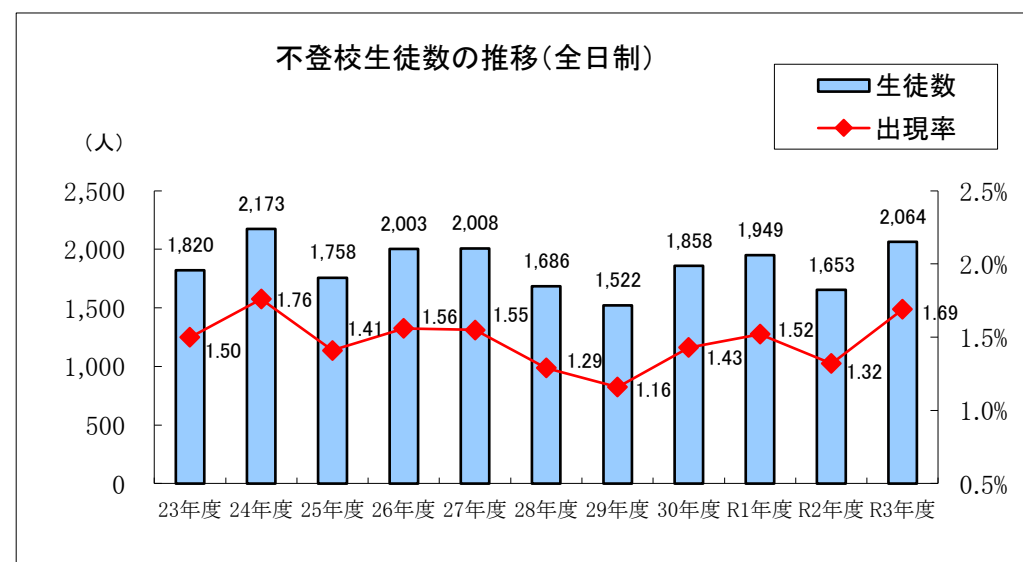
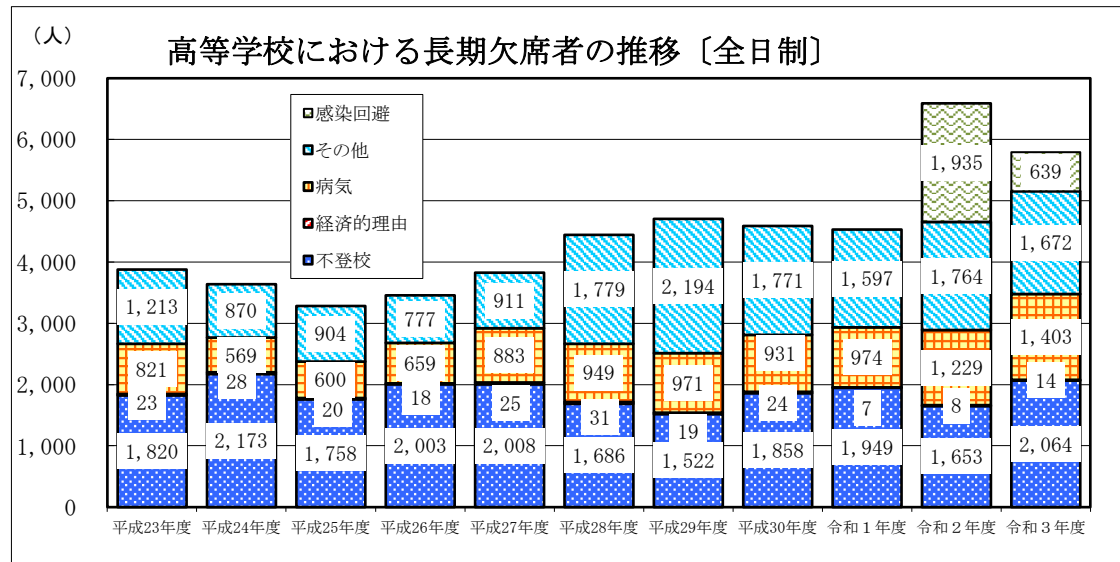
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			新型コロナ感染回避			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
23年度	130,846	3,676	2.81	-	272	0.21	-	995	0.76	-	2,192	1.68	-	-	-	-	7,135	5.45	-
24年度	132,959	4,243	3.19	0.38	368	0.28	0.07	775	0.58	▲ 0.18	1,842	1.39	▲ 0.29	-	-	-	7,228	5.44	▲ 0.01
25年度	134,003	3,293	2.46	▲ 0.73	325	0.24	▲ 0.04	782	0.58	0.00	2,564	1.91	0.52	-	-	-	6,964	5.20	▲ 0.24
26年度	137,315	3,676	2.68	0.22	382	0.28	0.04	893	0.65	0.07	1,994	1.45	▲ 0.46	-	-	-	6,945	5.06	▲ 0.14
27年度	138,501	3,183	2.30	▲ 0.38	290	0.21	▲ 0.07	1,043	0.75	0.10	2,211	1.60	0.15	-	-	-	6,727	4.86	▲ 0.20
28年度	139,180	2,556	1.84	▲ 0.46	297	0.21	0.00	1,189	0.85	0.10	3,150	2.26	0.66	-	-	-	7,192	5.17	0.31
29年度	138,201	2,437	1.76	▲ 0.08	178	0.13	▲ 0.08	1,242	0.90	0.05	3,514	2.54	0.28	-	-	-	7,371	5.33	0.16
30年度	137,064	2,705	1.97	0.21	199	0.15	0.02	1,174	0.86	▲ 0.04	2,842	2.07	▲ 0.47	-	-	-	6,920	5.05	▲ 0.28
R1年度	134,593	2,614	1.94	▲ 0.03	121	0.09	▲ 0.06	1,182	0.88	0.02	2,599	1.93	▲ 0.14	-	-	-	6,516	4.84	▲ 0.21
R2年度	131,122	2,417	1.84	▲ 0.10	72	0.05	▲ 0.04	1,410	1.08	0.20	2,474	1.89	▲ 0.04	2,054	1.57	-	8,427	6.43	1.59
R3年度	127,406	2,903	2.28	0.44	71	0.06	0.01	1,733	1.36	0.28	2,353	1.85	▲ 0.04	728	0.57	▲ 1.00	7,788	6.11	▲ 0.32



	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
不登校 (出現率) <%>	3,676 2.81	4,243 3.19	3,293 2.46	3,676 2.68	3,183 2.30	2,556 1.84	2,437 1.76	2,705 1.97	2,614 1.94	2,417 1.84	2,903 2.28
経済的理由	272	368	325	382	290	297	178	199	121	72	71
病気	995	775	782	893	1,043	1,189	1,242	1,174	1,182	1,410	1,733
その他	2,192	1,842	2,564	1,994	2,211	3,150	3,514	2,842	2,599	2,474	2,353
新型コロナ感染回避										2,054	728
長期欠席合計 (出現率) <%>	7,135 5.45	7,228 5.44	6,964 5.20	6,945 5.06	6,727 4.86	7,192 5.17	7,371 5.33	6,920 5.05	6,516 4.84	8,427 6.43 (感染回避含む)	7,788 6.11 (感染回避含む)
全校生徒数	130,846	132,959	134,003	137,315	138,501	139,180	138,201	137,064	134,593	131,122	127,406
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	51.52	58.70	47.29	52.93	47.32	35.54	33.06	39.09	40.12	28.68	37.28

イ 公立高等学校全日制課程

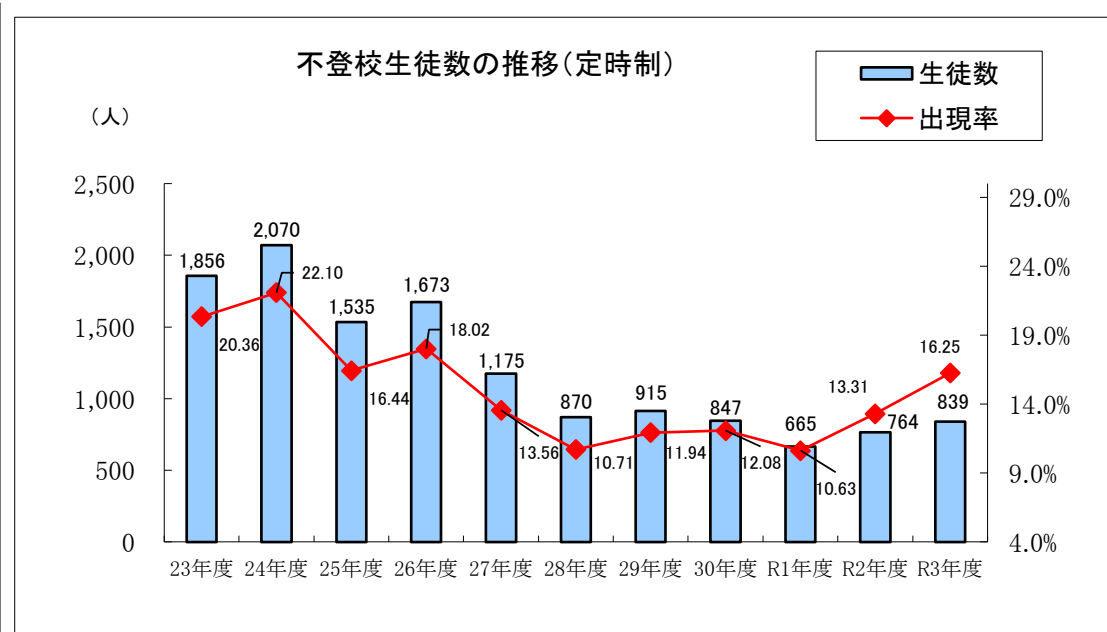
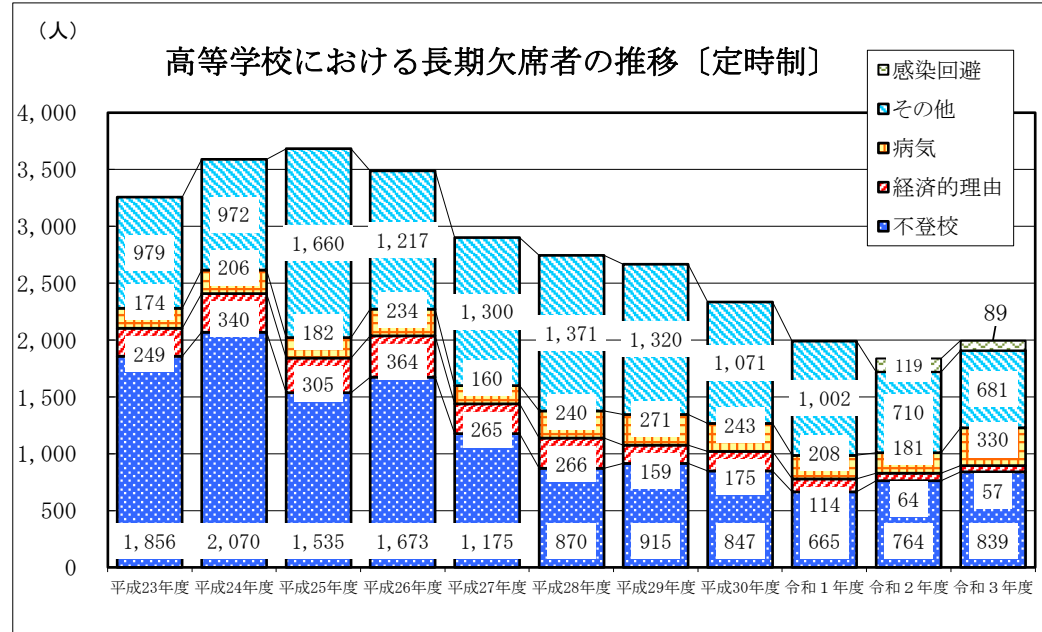
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			新型コロナ感染回避			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
23年度	121,729	1,820	1.50	-	23	0.02	-	821	0.67	-	1,213	1.00	-	-	-	-	3,877	3.18	-
24年度	123,593	2,173	1.76	0.26	28	0.02	0.00	569	0.46	▲0.21	870	0.70	▲0.30	-	-	-	3,640	2.95	▲0.23
25年度	124,665	1,758	1.41	▲0.35	20	0.02	0.00	600	0.48	0.02	904	0.73	0.03	-	-	-	3,282	2.63	▲0.32
26年度	128,033	2,003	1.56	0.15	18	0.01	▲0.01	659	0.51	0.03	777	0.61	▲0.12	-	-	-	3,457	2.70	0.07
27年度	129,839	2,008	1.55	▲0.01	25	0.02	0.01	883	0.68	0.17	911	0.70	0.09	-	-	-	3,827	2.95	0.25
28年度	131,055	1,686	1.29	▲0.26	31	0.02	0.00	949	0.72	0.04	1,779	1.36	0.66	-	-	-	4,445	3.39	0.44
29年度	130,740	1,522	1.16	▲0.13	19	0.01	▲0.01	971	0.74	0.02	2,194	1.68	0.32	-	-	-	4,706	3.60	0.21
30年度	130,052	1,858	1.43	0.27	24	0.02	0.01	931	0.72	▲0.02	1,771	1.36	▲0.32	-	-	-	4,584	3.52	▲0.08
R1年度	128,336	1,949	1.52	0.09	7	0.01	▲0.01	974	0.76	0.04	1,597	1.24	▲0.12	-	-	-	4,527	3.53	0.01
R2年度	125,384	1,653	1.32	▲0.20	8	0.01	0.00	1,229	0.98	0.22	1,764	1.41	0.17	1,935	1.54	-	6,589	5.26	1.73
R3年度	122,244	2,064	1.69	0.37	14	0.01	0.00	1,403	1.15	0.17	1,672	1.37	▲0.04	639	0.52	▲1.02	5,792	4.74	▲0.52



	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
不登校 (出現率) <%>	1,820 1.50	2,173 1.76	1,758 1.41	2,003 1.56	2,008 1.55	1,686 1.29	1,522 1.16	1,858 1.43	1,949 1.52	1,653 1.32	2,064 1.69
経済的理由	23	28	20	18	25	31	19	24	7	8	14
病気	821	569	600	659	883	949	971	931	974	1,229	1,403
その他	1,213	870	904	777	911	1,779	2,194	1,771	1,597	1,764	1,672
新型コロナ感染回避										1,935	639
長期欠席合計 (出現率) <%>	3,877 3.18	3,640 2.95	3,282 2.63	3,457 2.70	3,827 2.95	4,445 3.39	4,706 3.60	4,584 3.52	4,527 3.53	6,589 5.26 (感染回避含む)	5,792 4.74 (感染回避含む)
全校生徒数	121,729	123,593	124,665	128,033	129,839	131,055	130,740	130,052	128,336	125,384	122,244
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	46.94	59.70	53.56	57.94	52.47	37.93	32.34	40.53	43.05	25.09	35.64

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			新型コロナ感染回避			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
23年度	9,117	1,856	20.36	-	249	2.73	-	174	1.91	-	979	10.74	-	-	-	-	3,258	35.74	-
24年度	9,366	2,070	22.10	1.74	340	3.63	0.90	206	2.20	0.29	972	10.38	▲ 0.36	-	-	-	3,588	38.31	2.57
25年度	9,338	1,535	16.44	▲ 5.66	305	3.27	▲ 0.36	182	1.95	▲ 0.25	1,660	17.78	7.40	-	-	-	3,682	39.43	1.12
26年度	9,282	1,673	18.02	1.58	364	3.92	0.65	234	2.52	0.57	1,217	13.11	▲ 4.67	-	-	-	3,488	37.58	▲ 1.85
27年度	8,662	1,175	13.56	▲ 4.46	265	3.06	▲ 0.86	160	1.85	▲ 0.67	1,300	15.01	1.90	-	-	-	2,900	33.48	▲ 4.10
28年度	8,125	870	10.71	▲ 2.85	266	3.27	0.21	240	2.95	1.10	1,371	16.87	1.86	-	-	-	2,747	33.81	0.33
29年度	7,661	915	11.94	1.23	159	2.08	▲ 1.19	271	3.54	0.59	1,320	17.23	0.36	-	-	-	2,665	34.79	0.98
30年度	7,012	847	12.08	0.14	175	2.50	0.42	243	3.47	▲ 0.07	1,071	15.27	▲ 1.96	-	-	-	2,336	33.31	▲ 1.48
R1年度	6,257	665	10.63	▲ 1.45	114	1.82	▲ 0.68	208	3.32	▲ 0.15	1,002	16.01	0.74	-	-	-	1,989	31.79	▲ 1.52
R2年度	5,738	764	13.31	2.68	64	1.12	▲ 0.70	181	3.15	▲ 0.17	710	12.37	▲ 3.64	119	2.07	-	1,838	32.03	0.24
R3年度	5,162	839	16.25	2.94	57	1.10	▲ 0.02	330	6.39	3.24	681	13.19	0.82	89	1.72	▲ 0.35	1,996	38.67	6.64



	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
不登校 (出現率) <%>	1,856 20.36	2,070 22.10	1,535 16.44	1,673 18.02	1,175 13.56	870 10.71	915 11.94	847 12.08	665 10.63	764 13.31	839 16.25
経済的理由	249	340	305	364	265	266	159	175	114	64	57
病気	174	206	182	234	160	240	271	243	208	181	330
その他	979	972	1,660	1,217	1,300	1,371	1,320	1,071	1,002	710	681
新型コロナ感染回避										119	89
長期欠席合計 (出現率) <%>	3,258 35.74	3,588 38.31	3,682 39.43	3,488 37.58	2,900 33.48	2,747 33.81	2,665 34.79	2,336 33.31	1,989 31.79	1,838 32.03 (感染回避含む)	1,996 38.67 (感染回避含む)
全校生徒数	9,117	9,366	9,338	9,282	8,662	8,125	7,661	7,012	6,257	5,738	5,162
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	56.97	57.69	41.69	47.96	40.52	31.67	34.33	36.26	33.43	41.57	42.03

(4-2) 不登校の状態が前年度から継続している生徒数

区分	1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計		
	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	
全日制	不登校生徒数	451	—	567	—	479	—	—	—	567	—	2,064	—
	うち 前年度から継続	72	16.0	142	25.0	131	27.3	—	—	158	27.9	503	24.4
定時制	不登校生徒数	33	—	40	—	36	—	24	—	706	—	839	—
	うち 前年度から継続	9	27.3	23	57.5	19	52.8	12	50.0	452	64.0	515	61.4
計	不登校生徒数	484	—	607	—	515	—	24	—	1,273	—	2,903	—
	うち 前年度から継続	81	16.7	165	27.2	150	29.1	12	50.0	610	47.9	1,018	35.1

(注1)割合は、各課程・各学年の不登校生徒数に占める割合

(4-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制		定時制		計	
	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)
不登校生徒数	2,064	—	839	—	2,903	—
うち中途退学に至った者	358	17.3	169	20.1	527	18.2
うち原級留置に至った者	70	3.4	39	4.6	109	3.8

(注)※印は各課程の不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4-4)不登校の要因

分類	区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、遊び、非行	無気力、不安	
全日制	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	0	207	12	109	98	9	21	111	35	48	46	466	769	133
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	0	38	8	82	52	21	4	50	12	59	35	107	238	
定時制	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	0	39	1	15	8	0	1	26	11	16	32	249	359	82
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	0	14	6	17	5	1	7	12	11	27	18	71	94	

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(4-5)不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制		(2)定時制		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	991	48.0	286	34.1	1,277	44.0
指導中の生徒	1,073	52.0	553	65.9	1,626	56.0

(4-6) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	全日制				定時制				計								
	相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席 扱いした人数		相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席 扱いした人数		相談・指導等を受けた人数(A)		不登校児童・生徒数にお ける(A)の割合(%)		指導要録上出席 扱いした人数(B)		(B)/(A) (%)		
		※うち 90日 以上		※うち90 日以上		※うち 90日 以上		※うち90 日以上		※うち 90日 以上		※うち 90日 以上		※うち 90日 以上		※うち 90日 以上	
学校外	(1) ①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	338	84	13	3	89	42	1	1	427	126	14.71	4.34	14	4	3.28	3.17
	①教育支援センター (適応指導教室)	12	2	1	0	10	7	0	0	22	9	0.76	0.31	1	0	4.55	0.00
	②教育センター等教育委員会 所管の機関(①を除く)	15	6	2	1	5	2	0	0	20	8	0.69	0.28	2	1	10.00	12.50
	③児童相談所、福祉事務所	58	22	2	1	29	14	1	1	87	36	3.00	1.24	3	2	3.45	5.56
	④保健所、精神福祉保健センター	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0.07	0.00	0	0	0.00	0.00
	⑤病院、診療所	257	59	8	1	41	18	0	0	298	77	10.27	2.65	8	1	2.68	1.30
	⑥民間団体、民間施設	14	2	0	0	8	1	0	0	22	3	0.76	0.10	0	0	0.00	0.00
	⑦上記以外の機関等	10	4	0	0	13	7	0	0	23	11	0.79	0.38	0	0	0.00	0.00
(2) ①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,583	200	—	—	667	205	—	—	2,250	405	77.51	13.95	—	—	—	—	
(3) 不明(実数)	143	19	—	—	83	26	—	—	226	45	7.79	1.55	—	—	—	—	
(4) (1)～(3)の合計	2,064	303	—	—	839	273	—	—	2,903	576	100.00	19.84	—	—	—	—	
学校内	(5) ⑧・⑨による相談・指導等を受けた 人数(実数)	806	135	—	—	154	69	—	—	960	204	33.07	7.03	—	—	—	—
	⑧養護教諭による専門的な指導を 受けた人数	534	70	—	—	102	36	—	—	636	106	21.91	3.65	—	—	—	—
	⑨スクールカウンセラー、相談員等による 専門的な相談を受けた人数	515	100	—	—	91	52	—	—	606	152	20.87	5.24	—	—	—	—
	(6) ⑧・⑨による相談・指導等を受けて いない人数(実数)	1,258	168	—	—	685	204	—	—	1,943	372	66.93	12.81	—	—	—	—
	(7) (5)～(6)の合計	2,064	303	—	—	839	273	—	—	2,903	576	100.00	19.84	—	—	—	—
(8) 上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等 を受けていない人数	1,100	122	—	—	584	170	—	—	1,684	292	58.01	10.06	—	—	—	—	

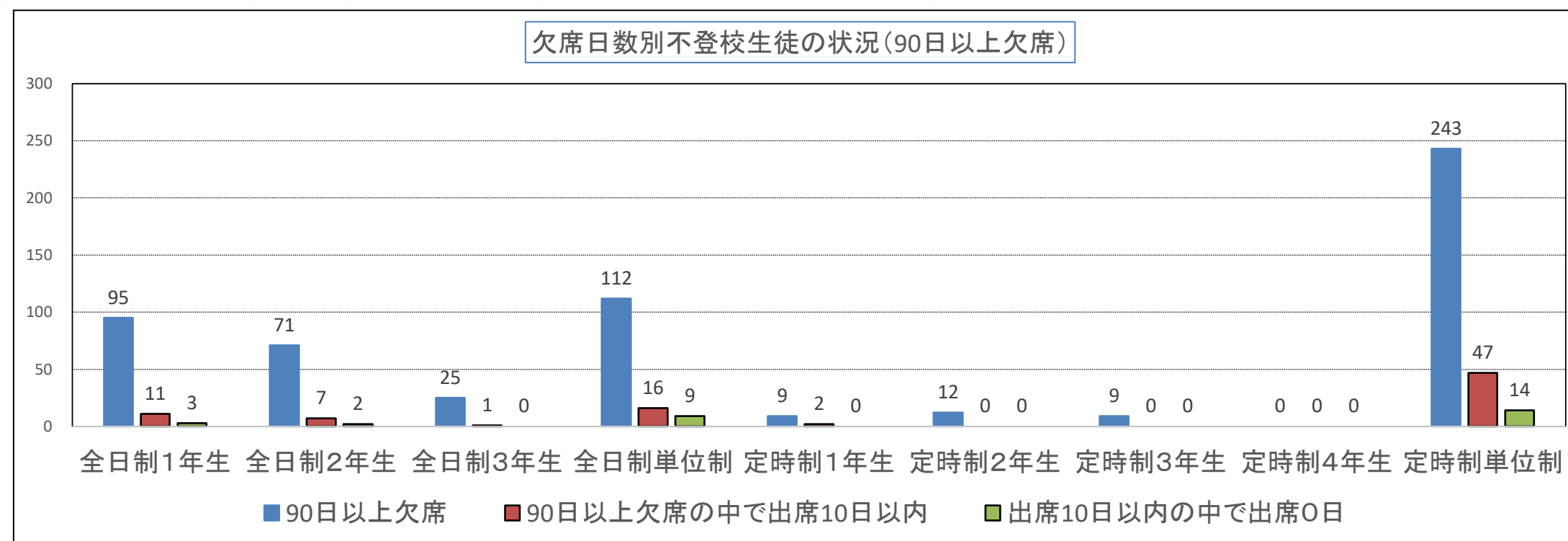
(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答可

(注2)(8)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

(4-7) 欠席日数別不登校生徒の状況

区分	学年	在籍生徒数	不登校生徒数	90日以上欠席した者のうち					
				出席日数10日以下					
				出席日数が0日		出席日数が1-9日		出席日数が10-89日	
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
全日制	1年生	32,741	451	95	21.1	11	2.4	3	0.7
	2年生	33,223	567	71	12.5	7	1.2	2	0.4
	3年生	33,706	479	25	5.2	1	0.2	0	0.0
	単位制	22,574	567	112	19.8	16	2.8	9	1.6
	計	122,244	2,064	303	14.7	35	1.7	14	0.7
定時制	1年生	305	33	9	27.3	2	6.1	0	0.0
	2年生	321	40	12	30.0	0	0.0	0	0.0
	3年生	364	36	9	25.0	0	0.0	0	0.0
	4年生	308	24	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	単位制	3,864	706	243	34.4	47	6.7	14	2.0
	計	5,162	839	273	32.5	49	5.8	14	1.7
合計		127,406	2,903	576	19.8	84	2.9	28	1.0

(注) パーセンテージは、各区分における不登校生徒数に対する割合





## 5 中途退学者等の状況【公立高等学校】

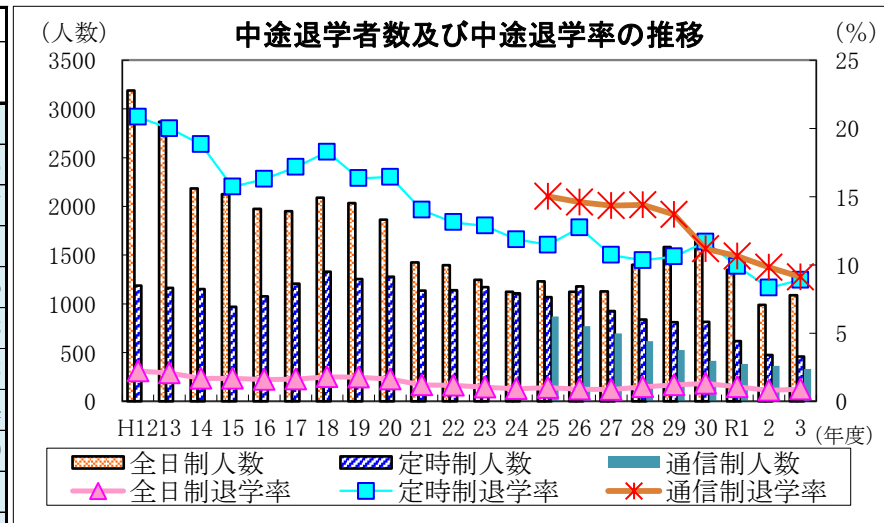
### (5-1) 課程・学年別中途退学者数

区分	全日制					定時制					通信制		合計	
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	計	単位制		計
中途退学者数	342	317	113	317	1,089	38	30	25	4	362	459	331	331	1,879

### (参考)

中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			定時制		
	人数(人)	中途退学率(%)	増減(p)	人数(人)	中途退学率(%)	増減(p)
平成12年度	3,188	2.21	-	1,187	20.83	-
平成13年度	2,871	2.07	▲ 0.14	1,162	20.00	▲ 0.83
平成14年度	2,185	1.67	▲ 0.40	1,150	18.83	▲ 1.17
平成15年度	2,125	1.67	0.00	971	15.72	▲ 3.11
平成16年度	1,976	1.60	▲ 0.07	1,078	16.28	0.56
平成17年度	1,952	1.62	0.02	1,209	17.16	0.88
平成18年度	2,089	1.79	0.17	1,331	18.28	1.12
平成19年度	2,036	1.77	▲ 0.02	1,255	16.34	▲ 1.94
平成20年度	1,865	1.61	▲ 0.16	1,279	16.44	0.10
平成21年度	1,426	1.21	▲ 0.40	1,134	14.03	2.41
平成22年度	1,398	1.16	▲ 0.05	1,139	13.12	▲ 0.91
平成23年度	1,247	1.03	▲ 0.13	1,170	12.86	▲ 0.26
平成24年度	1,125	0.91	▲ 0.12	1,109	11.86	▲ 1.00
平成25年度	1,230	0.99	0.08	1,067	11.46	▲ 0.40
平成26年度	1,126	0.88	▲ 0.11	1,180	12.72	1.26
平成27年度	1,127	0.87	▲ 0.01	928	10.72	▲ 2.00
平成28年度	1,400	1.07	0.20	838	10.34	▲ 0.38
平成29年度	1,585	1.21	0.14	810	10.61	0.27
平成30年度	1,698	1.31	0.10	817	11.69	1.08
令和元年度	1,351	1.05	▲ 0.26	619	9.89	▲ 1.80
令和2年度	991	0.79	▲ 0.26	477	8.31	▲ 1.58
令和3年度	1,089	0.89	0.10	459	8.89	0.58



通信制		
人数(人)	中途退学率(%)	増減(p)
869	15.02	-
770	14.61	▲ 0.41
698	14.35	▲ 0.26
618	14.39	0.04
525	13.68	▲ 0.71
414	11.17	▲ 2.51
384	10.64	▲ 0.53
365	9.81	▲ 0.83
331	9.11	▲ 0.70

(注1)中途退学率は、令和3年4月1日現在の在籍者数に占める中途退学者数の割合  
(注2)平成25年度より、通信制についても数値を計上



(5-2) 事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	109	10.0	16	3.5	0	0.0
学校生活・学業不適応	399	36.6	138	30.1	3	0.9
進路変更	448	41.1	184	40.1	33	10.0
別の高校への入学を希望	178	16.3	46	10.0	5	1.5
専修・各種学校への入学を希望	6	0.6	6	1.3	3	0.9
就職を希望	96	8.8	91	19.8	8	2.4
高卒程度認定試験を受験希望	73	6.7	18	3.9	13	3.9
その他	95	8.7	23	5.0	4	1.2
病気・けが・死亡	66	6.1	22	4.8	5	1.5
経済的理由	2	0.2	0	0.0	1	0.3
家庭の事情	29	2.7	39	8.5	7	2.1
問題行動等	20	1.8	5	1.1	0	0.0
その他の理由	16	1.5	55	12.0	282	85.2
中途退学者数	1,089	100.0	459	100.0	331	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5-3) 経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
①授業料減免を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
②奨学金の貸与を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
③授業料の滞納があった者	1	50.0	0	0.0	0	0.0
④上記のいずれかにも該当しない者	1	50.0	0	0.0	1	100.0
経済的理由による中途退学者数	2	100.0	0	0.0	1	100.0

(注1)①～③については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5-4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 年 生	238	0.83	104	2.56	—	—	38	12.46	—	—	380	1.15
2 年 生	255	0.88	62	1.51	—	—	30	9.35	—	—	347	1.03
3 年 生	92	0.31	21	0.51	—	—	25	6.87	—	—	138	0.41
4 年 生	—	—	—	—	—	—	4	1.30	—	—	4	1.30
単 位 制	219	1.71	41	1.22	57	0.89	362	9.37	331	9.11	1,010	3.36
合 計	804	0.80	228	1.46	57	0.89	459	8.89	331	9.11	1,879	1.43

(注)割合は、令和3年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

(5-5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 年 生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
2 年 生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
3 年 生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
4 年 生	—	—	—	—	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
単 位 制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(注)割合は、令和3年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める懲戒による退学者の割合

(5-6) 課程・学科・学年別原級留置者数

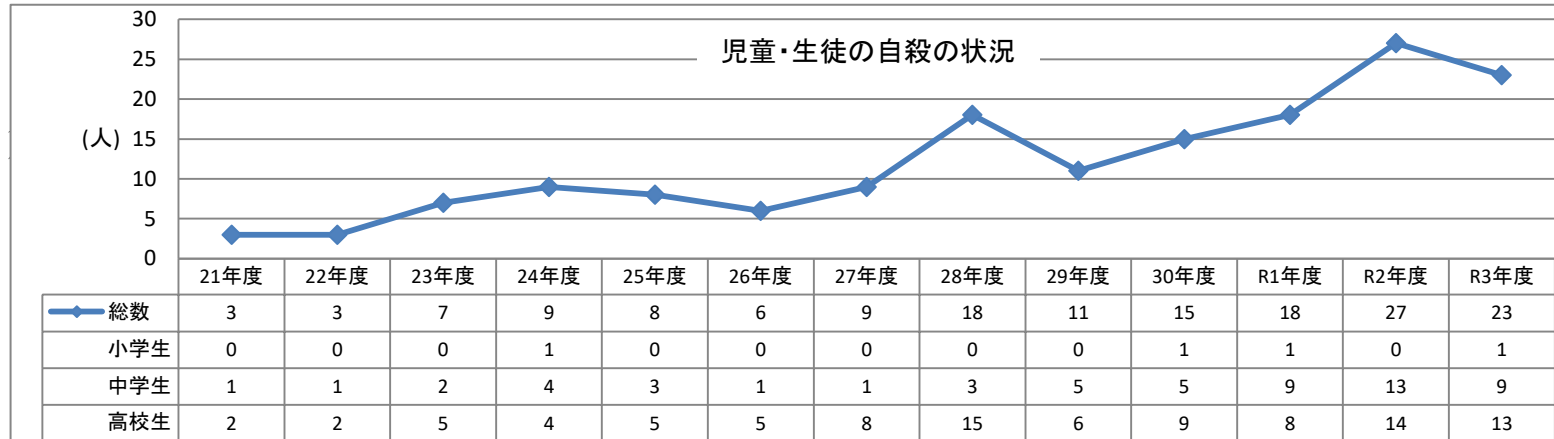
区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 年 生	61	0.21	12	0.30	—	—	15	4.92	—	—	88	0.27
2 年 生	49	0.17	7	0.17	—	—	8	2.49	—	—	64	0.19
3 年 生	16	0.05	3	0.07	—	—	15	4.12	—	—	34	0.10
4 年 生	—	—	—	—	—	—	5	1.62	—	—	5	1.62
単 位 制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	6	0.16	0	0.00	6	0.02
合 計	126	0.13	22	0.14	0	0.00	49	0.95	0	0.00	197	0.15

(注1)原級留置者とは、令和4年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、令和3年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

## 6 自殺の状況【公立小・中・高等学校】

### (6-1) 児童・生徒の自殺の状況



### (6-2) 自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校					合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	4年生	計	
男子	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	4	1	3	5	0	9	14
女子	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5	3	0	1	0	4	9
計	0	0	0	0	0	1	1	1	3	5	9	4	3	6	0	13	23

### (6-3) 自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小・中・高計	
	人数(人)	構成比(%)
家庭不和	4	17.4
父母等の叱責	1	4.3
学業等不振	0	0.0
進路問題	4	17.4
教職員との関係での悩み	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	3	13.0
いじめの問題	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0
えん世	4	17.4
恋愛関係での悩み	0	0.0
精神障害	1	4.3
不明	15	65.2
その他	1	4.3

(注3)それぞれの項目については、以下の具体例を参考にすること。

- ①家庭不和：父母や兄弟等との関係がうまくいかずに悩んでいた。等
- ②父母等の叱責：父母等から叱られ落ち込んでいた。等
- ③学業等不振：成績が以前と比べて大幅に落ち込んでいた。/授業や部活動についていけず悩んでいた。等
- ④進路問題：卒業後の進路に悩んでいた。/受験や就職試験に失敗した。/面接等で志望校への受験が困難である旨を告げられた。等
- ⑤教職員との関係での悩み：学級担任との関係がうまくいかずに悩んでいた。/教職員から厳しく叱責を受けていた。等
- ⑥友人関係での悩み(いじめを除く)：友人とけんかをし、その後、関係がうまくいかずに悩んでいた。/クラスになじむことができずに悩んでいた。等
- ⑦いじめの問題：いじめられ、つらい思いをしていた。/保護者から自殺した児童・生徒に対していじめがあったのではないかと訴えがあった。/自殺した児童・生徒に対するいじめがあったと他の児童・生徒が証言していた。等
- ⑧病弱等による悲観：病気や病弱であることについて悩んでいた。等
- ⑨えん世：世の中を嫌なもの、価値のないものと思って悩んでいた。等
- ⑩恋愛関係での悩み：恋愛関係の問題について悩んでいた。等
- ⑪精神障害：精神障害で専門家による治療を受けていた。等
- ⑫不明：周囲から見ても普段の生活と変わらず、特に悩みを抱えている様子も見られなかった。等

(注1)複数回答を可とする。

(注2)自殺した児童・生徒が置かれていた状況について、自殺の理由に関係なく、学校が事実として把握しているもの以外でも、警察等の関係機関や保護者、他の児童・生徒等の情報があれば、該当する項目を全て選択する。

## 7 出席停止の状況【公立小・中学校】

(7-1)出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
令和3年度	0	0	0

(7-2)出席停止の学年別件数

学年別件数												
区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7-3)出席停止の期間別件数

区分	1～3日	4～6日	7～13日	14～20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0

(7-4)出席停止の理由別件数

区分	暴力行為	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0

(注)複数回答可

## 8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

### （8-1）県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育センター・研究所	2	14	19	33
		(7.0)	(9.5)	(16.5)
教育相談所・相談室	6	22	109	131
		(3.7)	(18.2)	(21.8)

(注1)( )内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2)「教育センター・研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注3)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

### （8-2）県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	SNS等オンライン相談	計
教育センター・研究所	2,427	4,973	45	0	859	8,304
教育相談所・相談室	2,126	2,805	507	11,248	11	16,697
計	4,553	7,778	552	11,248	870	25,001

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

### （8-3）県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育センター・研究所での来所教育相談件数(A)	739	332	294	1,062	2,427
教育相談所・相談室での来所相談件数(B)	1,005	797	263	61	2,126
来所教育相談総件数(AとBの合計)	1,744	1,129	557	1,123	4,553
うち、いじめに関する教育相談件数	10	10	2	5	27
うち、不登校に関する教育相談件数	592	504	214	628	1,938

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計
教育相談件数	電話相談	2,109	2,177	2,012	1,480	7,778
	訪問相談	270	268	12	2	552
	巡回相談	6,501	4,747	0	0	11,248
	SNS等オンラインを活用した相談	31	530	170	139	870
計		8,911	7,722	2,194	1,621	20,448
内数	いじめに関する相談	113	302	97	85	597
	不登校に関する相談	1,325	3,682	583	310	5,900

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	39
---------	----

イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(人)	47	145	192
構成比(%)	24.5	75.5	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	1.2	3.7	4.9

ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	SNS等オンライン を活用した相談	計
件数(件)	10,588	6,669	2,118	4,892	149	24,416

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-6) 県・政令指定都市・市町村教育委員会におけるスクールカウンセラーの活動日数別学校数

	小学校	中学校	高等学校	計
①常駐	0	0	0	0
②年間140日以上(常駐を除く)	0	0	0	0
③年間139日～70日	12	70	6	88
④年間69日～35日	485	285	34	804
⑤年間34日～20日	45	53	105	203
⑥年間19日～10日	170	2	35	207
⑦年間9日～1日	71	0	0	71
⑧年間0日(配置実績なし)	71	2	0	73
計	854	412	180	1,446

(注1) スクールカウンセラーの雇用形態や配置計画に拠らず、実績を計上すること。活動日とは、スクールカウンセラーが学校へ出向くことをはじめ、児童・生徒宅への家庭訪問等当該学校への相談業務等に従事した日を指すものとする。また、日数は、時間に拠らず、例えば午前中にA小学校、午後にB中学校で相談業務に当たった場合、それぞれの学校で1日と考える。さらに、複数のスクールカウンセラーが配置されている学校については、配置されている者全員の活動日の合計を計上すること、例えば同じ学校で同じ日に2人のスクールカウンセラーが相談業務に当たった場合、2日と考える。

(注2) 常駐とは、スクールカウンセラーが単独の者か複数の者かに寄らず、基本的に毎日、一人以上のスクールカウンセラーが当該学校の相談業務等に従事していることを指す。

(注3) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上すること。

(8-7) 県・政令指定都市・市町村教育委員会におけるスクールソーシャルワーカーの活動日数別学校数

	中学校区	小学校	中学校	高等学校	小・中・高計
①常駐	0	0	0	0	0
②年間168日以上(常駐を除く)	12	13	8	0	21
③年間167日～84日	45	47	22	0	69
④年間83日～42日	150	35	18	24	77
⑤年間41日～20日	83	398	178	23	599
⑥年間19日～10日	58	95	72	7	174
⑦年間9日～1日	46	174	68	81	323
⑧年間0日(配置実績なし)	18	92	46	45	183
計	412	854	412	180	1,446

(注1) スクールソーシャルワーカーが単独の者か複数の者か、あるいは、雇用形態や配置計画に拠らず、実績を計上。活動日とは、スクールソーシャルワーカーが学校へ出向くことをはじめ、児童・生徒宅への家庭訪問等当該学校への相談業務等に従事したことを指すものとする。また、日数は、時間に拠らず、例えば午前中にA小学校、午後にB中学校で相談業務に当たった場合、それぞれの学校で1日と数える。さらに、複数のスクールソーシャルワーカーが配置されている学校については、業務に当たっているスクールソーシャルワーカー全員の活動日の合計を計上。例えば同じ学校で同じ日に2人のスクールソーシャルワーカーが業務に当たった場合、2日と数える。

(注2) 中学校区とは、中学校別の通学区域であり、1つの中学校とその通学区域内のある複数の小学校を総称するものであるが、各中学校区におけるすべての学校で対応実績があるかどうかにかかわらず、当該中学校区でスクールソーシャルワーカーが活動した日数を計上する。また、中学校区数の区分については、中学校区ごとに1日の活動時間数に関係なく、活動した日数の合計を記入する。

(注3) 常駐とは、スクールソーシャルワーカーが単独の者か複数の者かに寄らず、基本的に毎日、一人以上のスクールソーシャルワーカーが当該学校の相談業務等に従事していることを指す。

(注4) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上すること。